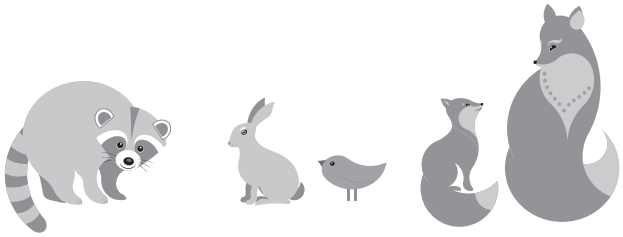
ママぱれっと

ママと赤ちゃんの居場所

～ 新しい命を育む家族を地域で支える ～

独立行政法人福祉医療機構(WAM)社会福祉振興助成 2019年度事業
「0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業 ～ママぱれっと～」



報告書【資料編】

一般社団法人チカク

2020 年 3 月 31 日

目 次

2019年度事業報告書について …… 1
実施事業一覧 …… 2
ママぱれっとの視点 …… 3
事業実施に至る背景 …… 4
情報発信、連携事業、学会報告など …… 5
2020年 北欧視察 ～乳幼児の発達支援の現状～ …… 6
「0歳さんの日」 …… 7
「0歳さんの日」アンケート内容 …… 10-13
「赤ちゃんと遊ぼう」 …… 14
「赤ちゃんと遊ぼう」アンケート内容 …… 17-22
「アラ40ママのひろば」 …… 23
「アラ40ママのひろば」アンケート内容 …… 24-25
「子リスのひろば」 …… 26
「子リスのひろば」アンケート内容 …… 27-28
「ふうの実ひろば」 …… 29
チラシ …… 31
Webミーティング …… 33
参加者人数とアンケート調査満足度 …… 44
チカクの歩み …… 46
チカクのこと …… 47

ママぱれっと

ママと赤ちゃんの居場所

— 2019年度事業報告書（資料編）–

独立行政法人福祉医療機構（WAM）社会福祉振興助成事業「0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業 ～ママぱれっと」は、2018年度モデル事業、2019年度事業として助成を受け、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、3歳児以下、特に0歳児の発達課題を丁寧に見る「親子の居場所づくり」をおこなうために、一般社団法人チカクが助産師・作業療法士・保育士などの専門職とともに、企画運営にあたりました。

この報告書（資料編）は、2019年度に行った37回の相談支援を中心とした拠点事業の概要と、Webミーティングの様子をまとめたものです。

いつもと違う日々が続く2020年の春。健やかな子どもたちの育ちを願う各地の支援者のみなさまのお目に留まれば幸いです。

一般社団法人チカク 代表理事 赤木美子
ekinotikaku@gmail.com
2020 年 3 月 31 日

一般社団法人チカクは、未来に先送りされる社会の課題を少しでも軽減することを目的に、子どもと子育て支援にかかわるさまざまなプログラムを年間を通じて行っています。
一般社団法人チカクについては、この冊子の46−47ページをご覧ください。 ©TIKAKU

実施事業一覧

WAM助成事業 A

ママぱれっと
ママと赤ちゃんの居場所

【プログラム】
午前は、日程によって狙い・対象変え要予約とした。

【ノンプログラム】
同日の午後は毎回、予約不要のひろばとした。

【ランチタイム】
12時-13時は、同じ会場で、支援者、弁当を持参した参加者ともに昼食を楽しんだ。

【配置】
常駐する専門職は、狙いによって助産師、作業療法士のどちらかを置き、ベテラン保育士を1名、記録・ファシリテーション担当として保育士資格を持つスタッフ1～2名、計3～4名の支援者を置いた。

【プログラム構成】
10:00>受付利用者はその日聞きたいことなどを付箋に書く
➡10:30>手遊び、アイスブレイク
➡10:35>グループトーク(自己紹介、支援者も入ってグループでの悩み相談など)
➡11:10>専門職から全体にお話し、意見交換
➡11:30>アンケート、情報提供、手遊びなど。

開催頻度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●●●	●●●●	●●●	●●●	●●●	●●●●	●●●●	●●●	●●●●	●●●	●●●

0歳さんの日
10時-12時《要申込》
対象：0歳 プレママ可
助産師：村口 裕美

赤ちゃんの成長発達に大切な母乳やミルクの与え方と離乳食の関係、赤ちゃんのいる暮らし方など、助産師の村口先生による目からウロコのお話。さまざまな月齢の子たちと遊ばせたり、ママ達とお話したり。保育士さんやスタッフのサポートもあって安心。プレママも歓迎です。

★狙い｜0歳児の育児【暮らし】の立ち上がり支援。

日程	23	14	25	22	11	4	7	3	23	28	25

赤ちゃんと遊ぼう
10時-12時《要申込》
対象：0-1歳
作業療法士：引野 里絵

生きていくために必要な様々な感覚を、外からの刺激で身につけていく赤ちゃん。だから、日々の遊びは赤ちゃんの発達にとても大切です。おうちでの遊びの幅が広がるように、乳幼児の発達に詳しい作業療法士・引野先生に、遊びのヒントを学びます!

★狙い｜0-1歳児の育児【遊び】の立ち上がり支援。

日程	22	12	24	20	12	2	9	5	22	27	24

子リスのひろば
10時-12時《要申込》
対象：2-3歳
作業療法士：引野 里絵

どうしてお友だちと仲良くできないのかな。どうしてこの子だけ、こんなふうなの。もっと理解してあげたいのだけど…。そんな時、少し見方を変えると、お子さんの行動の理由もわかって楽になるかも。かかわり方のヒントを一緒に考えていきましょう。

★狙い｜育てづらさを感じる2-3歳を持つ保護者の悩み相談。

日程	21	11	23		10	1	8		21	26	

アラ40ママのひろば
10時-12時《要申込》
対象：0-3歳、プレママ可
助産師：村口 裕美

日ごろ言えない悩みも同年代なら言えるし、気持ちもわかると思います。40歳前後で出産・子育てをしているママとお子さんのための、気軽に相談できるひろばです。悩んでいるのが自分だけでないとわかると気持ちもリフレッシュするみたい。プレママも歓迎です。

★狙い｜0-3歳児を養育中の40代のママ、プレママの悩み相談。

日程		13		21		3	6	4	24		26

ふうの実ひろば
12時-15時《申込不要》
対象：0-3歳、プレママ可

親子で部屋に閉じこもっていると煮詰まっちゃう。いつもと少し違う雰囲気で、お話したり、遊んだり…。小さな悩みでも大きな悩みでも、日々の子育てのあれこれを話しに来ませんか?12～13時は一緒にランチもOK!出入り自由。

★狙い｜午前中に引き続き、支援者のいる気軽な相談支援の居場所。

日程	22,21,23	11,12,13,14	23,24,25	20,21,22	10,11,12	1,2,3,4	6,7,8,9	3,4,5	21,22,23,24	26,27,28	24,25,26

WAM助成事業 B

支援者のための ブラッシュアップ講座と ネットワーク会議

【位置づけ】
専門職や支援者向けスキルアップ研修およびネットワーク会議。前回行って好評だった町村先生の講演を軸に、ママぱれっとに実際に携わった講師らと2日間にわたる研修を企画した。

※ 新型コロナウイルス感染防止のため、3月2日(申込60人)、3月3日(同20人)を中止、代わりにZOOMを使ったネットワーク会議を開催した。

開催予定	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
											●●※

3/2 国際交流センター		生後2カ月からの発達支援 ～長野原町の乳児発達支援事業が始まった理由	中止
3/3 大原本邸 語らい座		ママぱれっと 支援者研修とネットワーク会議	
ネットワーク会議（Webミーティング）	1限目	すべての0歳児の通過点に ～ママぱれっとの目指すこと 一般社団法人チカク 代表理事、保育士　赤木美子	※臨時開催
	2限目	赤ちゃんを産み育てるということ ～出産・子育ての現状と未来 ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 所長、助産師　村口裕美	
	3限目	生き方の正中線を育む ～北欧視察のキーワード Rie Child Support代表、作業療法士　引野里絵	
	4限目	専門職連携を推進する立場から ～子どもの身体の変化を見つめて ㈱ゆう地域支援事業團 代表取締役、保健師　町村純子	
	5限目	すべての赤ちゃんにしあわせなこども時代を! 今日、ここからはじまる新しい子育て支援の物語。 つながりながら、それぞれの場所でその時できる最善のこと。	

コロナウイルス感染防止のために実施できなかった3月3日の「支援者研修とネットワーク会議」の代わりに行うもので、当日のスピーカーが、20分～30分ずつ、会議の主題に沿って話し、その後、参加者との意見交換を行った。30分の待機室から2時間半のZOOMミーティングにつなぎ、参加は出入り自由だが守秘義務遵守で、ビデオで顔出し、お名前・地域・職種の開示とした。募集はFacebookのみ。

■接続試験・リハーサル=3月14日、23日、26日　■会議実施=3月28日 9:30-12:30
■ホストPC=倉敷市茶屋町
■参加=岡山、広島、島根、徳島、京都、群馬、神奈川、千葉、北海道より24人、参加者の属性として保育士、保健師、助産師、作業療法士、歯科衛生士、小児科医、そのほか子育て支援にかかわる人

【関連して行った事業など】
当初このWAM事業で企画したが別枠で行ったものや、申し入れや企画調整により実施した事業は、以下の通り。2019年度は、主にWAM事業の情報発信に力をいれて行っている。

関連して行った事業など

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		●	●	●	●	●	●	●●	●●	●	●●●	●	●
遠野のわらべうたに学ぶ 昔ながらの子育ての知恵 木津 陽子さん	男女共同参画推進センター 共同事業										1/18		
		昨年度ママぱれっとで実施した講座を、倉敷市男女共同推進センターとの連携で実施。保護者向けと支援者向けに分け、より深い学びがあった。											
エフエムおかやま 「コドモノコト談話室」	県域ラジオ出演	4/11	5/9	6/13	7/11	8/8	9/12	10/10	11/14	12/12	1/23	2/13	3/12
		子育て世代、広く一般向けに2019年4月から毎月一回、その時々の子育てにまつわる話題と、チカクの子育て支援事業について紹介した。通勤や家事のはじまりの時間帯でリスナーが多く、ラジオを聞いてママぱれっとに参加したり、SNSを使ってコンタクトをとる支援者も。											
岡山県保健福祉学会への事例報告	学会報告										1/27		
		岡山県保健福祉学会の存在を知り事例報告として参加。時期的にWAM2年目の事業を周知することができたため、その後、募集したネットワーク会議に行政、保健師などの参加が多数見られた。											
2020年 北欧視察 乳幼児の発達支援の現状	スカンジナビア・ジャパン笹川財団による渡航費の一部助成							10/8~23	11/9				
		北欧の乳幼児支援について渡航費の助成を受け、渡欧した。その後、代表の赤木が理事を務める一般社団法人高梁川流域学校のエリアミーティングの一つとして、ママぱれっとの事業と北欧視察について報告会を行った。											

ママぱれっとの視点。

この事業は、独立行政法人福祉医療機構（WAM）社会福祉振興助成 2018年度モデル事業、2019年度事業として助成を受け、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、3歳児以下、特に0歳児の発達課題を丁寧に見る「親子の居場所づくり」をおこなうために、一般社団法人チカクが助産師・作業療法士・保育士などの専門職とともに、企画運営にあたりました。実施した事業は次の通りです。

事業A　0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業 ～ママぱれっと～

（詳細はP7-30の通り）

■ **内　容**　0歳児～3歳児の保護者が悩みを共有できる場として居場所を開設。発達支援の経験のある助産師か作業療法士が常駐、午前中の 2 時間は予約制で参加者と悩みを共有しながら相談に応じる。乳幼児の接し方のロールモデルとして、ベテランの保育士がサポートする。参加者の中から先輩ママたちが育っていくことも隠れた目的としている。

■ **規　模**　5月から翌年3月まで毎月3～4日程度、年間39回開催。

■ **場　所**　いかしの舎（岡山県都窪郡早島町早島1466 母屋2階）

■ **時　間**　運営時間10:00～15:00

午前（要予約）対象年齢、お悩み別の四つのプログラム
「0歳さんの日」「赤ちゃんと遊ぼう」「アラ40ママのひろば」「子リスのひろば」

午後（予約不要）0-3歳児対象　12:00-13:00はランチタイム

■ **ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ**　村口裕美　助産師・保健師・看護師、ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 所長
引野里絵　作業療法士、Rie Child Support 代表

事業B　支援者向けネットワーク会議

（詳細はP33-43の通り）

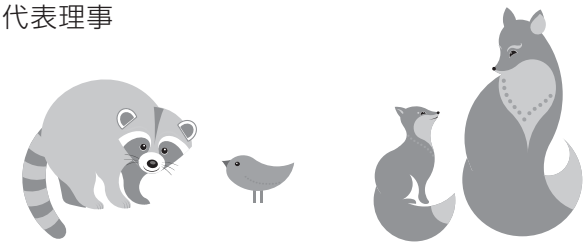
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月2-3日に予定していた支援者向け研修とネットワーク会議が中止となったため、3月28日にWebミーティングとして開催した。

■ **日　時**　2020年3月28日(金)　開場9:30 会議10:00-12:30

■ **会　場**　ホストPC＝岡山県倉敷市

■ **対象者**　保育・子育て支援、保護者支援に係る専門職、行政関係者などスピーカーを合わせ24名参加

■ **講　師**　町村順子　保健師・看護師・養護教諭2種、㈱ゆう地域支援事業團 代表取締役など
村口裕美　助産師・保健師・看護師、ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 所長
引野里絵　作業療法士、Rie Child Support 代表
赤木美子　保育士、一般社団法人チカク 代表理事



事業実施に至る背景

赤ちゃんとの暮らし方、実際の生活がイメージできず、育てにくさを感じたまま「様子をみましょう」と言われて行く場もなく不安にさいなまれる 0-3歳児の母親を対象に、医療と福祉のはざまの気楽な相談場所となる居場所の設置が急務であると感じています。まずは、それぞれの家庭でできる習慣の改善、暮らし方の提案を行い、あわせて乳幼児の発達課題を丁寧に見る居場所とその担い手を地域で育むことを目指しました。

愛着形成とこどもの体の問題

ネットで知りたい答えを見つけ、実際に目の前にいる子どもを見ていない母親、発達の過程を飛ばして成長し使いづらい体のまま、発達に課題を持つ子どもが増えている。

高学歴、高齢化する出産

高齢出産、他地域らの流入世帯など、地域で孤立し、子育て支援に助けを求めにくい、親子がいる。

かゆいところに手が届かない制度設計

1歳半検診までの間、赤ちゃんとの暮らしのアドバイスを受ける機会がなかった、あるいは受けていても、ロールモデルもなく実践に結び付いていないケースが散見される。制度として検診(1歳半)を待たなくてはいけない現状では、このことを強く意識し、間を埋める支援サービスが必要である。

子育て支援に関する無理解

出産前の女性、地域のお年寄り・中高年層、経営者・働く人、児童・生徒・学生、など、普段子どもに接する機会の少ないほとんど世間一般といわれる人たちは、子育て支援について無理解である。産み育てている人を含め、現代の子育てを知らず、特に人口減少化時代において「子育て支援」は産んだ母親とその家族だけの問題ではなく、地域の成長戦略の根幹であるという「認識」が足りない。

災害後の倉敷、岡山の子育て支援

生活についてアドバイスできる専門職のいる身近な支援拠点の必要性を感じているが、災害などさまざまな要因があり、2018-2019 年度は予定されていた 0-3歳児支援の予算化を先送りする傾向にあった。2020年度は感染症対策の関係で国家全体が揺れている状態であることもあり、子育て支援の最前線として地道な努力を続けつつ、未来に向かって必要な支援方法の構築を関係機関と連携して行っていきたいと考えている。

社会に漂う不安感と洞察力のある支援者の不足

4歳児の公園でのおもちゃの取り合いに「おとなしくなる」と安易に投薬をにおわせる相談員(不安感からそれを望む保護者)、療育に行けば「治る」と思っている保護者、療育に放り込めば安心と手を放してしまう支援者。乳幼児にプロテインや鉄剤のサプリを処方する医師とそれに不安を抱く保護者。個々の体質・家庭環境もあり一概に言えないが、こどもの発達支援について、現場で混乱が見られる。また、社会全体が正解を求め失敗を過度に恐れる傾向があり、こうした形の見えない要因も軽視できない。

社会課題の解消の行方が見えない

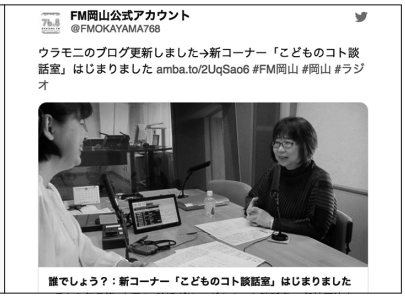
2019年10月に保育料の無償化がスタートして、これまでこどもを預けていなかった家庭でも母親が就職し、保育園に預ける傾向がみられる。このことが保育士の現場の負担を増大させ、保育士の離職に拍車がかかるのではないかということと、それによってベテランの保育士から新任の保育士が学ぶ機会が減り、保育の仕事の楽しさ、醍醐味を味わう機会まで奪っているのではないかと危惧している。つまり、現状に一つとして、保育士の働き方改革が進む要因が見つからない。また、いつもより早く集団生活に放り込まれるこどもたちの中に課題のあるこどもたちが埋もれていて、就学の際に顕在化していくのではないかということも危惧している。

情報発信、連携事業、学会報告など

ママぱれっとの取り組みを広く知っていただくために、支援者とのつながりの多い代表のSNSによる情報提供のほか、機会をとらえてさまざまな形で情報発信を行いました。

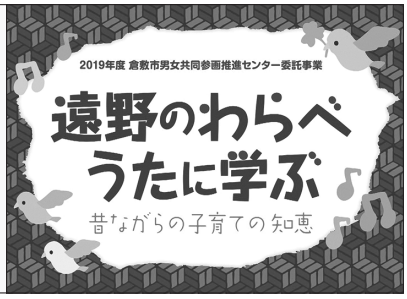
■ エフエムおかやま「コドモノコト談話室」出演

子育て世代、広く一般向けに 2019 年 4 月から毎月一回、9 時過ぎがら15 分ほど、その時々の子育てにまつわる話題と、チカクの子育て支援事業について紹介した。通勤や家事のはじまりの時間帯でリスナーが多く、ラジオを聞いてママぱれっとに参加したり、SNSを使ってコンタクトをとる支援者も。



■ 遠野のわらべうたに学ぶ 昔ながらの子育ての知恵

昨年度ママぱれっとで実施した講座を、倉敷市男女共同推進センターとの連携で実施。保護者向けと支援者向けに分け、より深い学びがあった。



■ 岡山県保健福祉学会への事例報告

グラフィックレコーディングは、事例報告の様子を聞きに来ていた糸山智栄さんによるもの。

Facebookで次のような
テキストを添えて拡散した。

学童保育と作業療法士の連携で県内でWAM事業を行う糸山智栄さんに教えてもらって、岡山県保健福祉学会というものがあるものを知った。時期的にも、WAM2年目の「0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業 ～ママぱれっと～」を、広くみなさんに知ってもらうにはちょうどいい。3 月 3 日には、そのまとめのイベント、2020 年度に向けてのキックオフも企画中…。なので勇気を出して行ってきました。なにごとも経験。アウェイだったけど、行って良かった。「ママぱれっと」についてはこちらから。
http://www.mamapalette.kokage.cc/aboutus/

■ 2020年 北欧視察 ～乳幼児の発達支援の現状～

スカンジナビアジャパン笹川財団より、北欧の乳幼児支援について渡航費の助成を受け渡欧した。その後、代表の赤木が理事を務める一般社団法人高梁川流域学校のエリアミーティングの一つとして、ママぱれっとの事業と北欧視察について報告会を行った。

（詳細は次ページ）

2020年 北欧視察 ～乳幼児の発達支援の現状～
子育て支援者向け報告会 <デンマークの最初の1000日>

実施概要

■ **日　時**　2020年11月9日(土)13時30分～16時
■ **会　場**　いかしの舎(岡山県都窪郡早島町早島1466)
■ **報告者**　引野 里絵(リエチャイルドサポート代表、作業療法士)
　　赤木 美子(一般社団法人チカク代表理事、保育士)
■ **参加者**　24名…県内の支援者を中心に近県および関東からの支援者も含む。

実施の背景

今回の視察の端緒は一般社団法人チカクが「0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業～ママぱれっと～」事業実施のために、乳幼児のからだの発達を促す「軽くて持ち運びができ」「おしゃれな」「なにか」を探していた時にデンマーク・ボブルス社の赤ちゃんのための家具に出会ったことにあります。

いくつかの幸せな出会いがあって、2019年10月8日から帰国の途に就く10月23日までの間に、デンマーク、フィンランド、スウェーデン3か国で、乳幼児向けのイベントの視察(デンマーク2カ所)、乳幼児向けの環境遊具(家具)を開発した企業との意見交換および研修(デンマーク)、インクルーシブ保育を行う保育施設の視察(フィンランド)、年齢ごとのプロジェクトなど特徴的な保育を行う保育施設の視察(デンマーク)、主に乳幼児とその保護者を対象とした地域子育て支援拠点の視察(フィンランド1カ所、スウェーデン2カ所)、育休・産休期間中にキャリアアップの活動を行うNPOとの意見交換(フィンランド1カ所)を行いました。この経験を0-3歳児の支援者の皆さんと共有するために視察報告会を行いました。

印象に残った考え方、キーワード

❶ 子どもは身体で考える。遊ぶことそれ自体に意味がある。自分に自信を持つために運動能力の発達とそれを親子が楽しみながらすることが大切。子どもをワクワクさせ、行動や学びの意味を見つけるのを助ける、子どもの積極的な参加・双方向の思考を見守る。そして子どもをコミュニティーの一員として受け入れる。

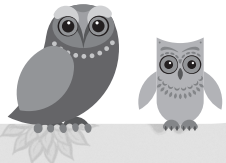
❷ 子どもを中心とした園と家族の役割分担が明確で、情報を共有しあって子どもの成長に「責任」を持っている。たとえば、記録と報告のシステム(自治体のシステム)と、フォーカスと呼ばれる、一人の子どもに年20回の保育士の観察ーフィードバックのシステムがある。家族との信頼関係を築く基盤になる考え方は、他児や暦年齢との比較ではなく、その子本人に視点が向いている。

❸ コミュニケーションの基礎となる自分と相手の気持ちに気づくことを学ぶ取り組み。表情カードを手掛かりに、今の気分を聞き、話し合う。また、自己選択、自己決定のプロセスを大事にしている。小学校に上がる前にこの一年で学んでおきたいことを子どもたちが考えた掲示物の考え方の順序は、まず「相互作用・自己コントロール」について話し合い、その後「日常生活のスキル」「遊び・アクティビティ」「運動」「自己表現・芸術」「知識・学習」の順に決めたとか。

※ この海外視察はスカンジナビア・ジャパン 笹川財団より、チカクに対し、申請者と他1名の渡航費の一部を助成いただいたものです。

0歳さんの日

赤ちゃんの成長発達に大切な母乳やミルクの与え方と離乳食との関係、赤ちゃんのいる暮らし方など、助産師の村口先生による目からウロコのお話。みんなで体を動かし、さまざまな月齢の子たちと遊ばせたり、ママたちとお話ししたり。保育士さんやスタッフのサポートもあって安心。プレママも歓迎です。



■ 狙いと対象者について

0歳児とその保護者を対象に、育児（暮らし）の立ち上がり支援を目的に実施。日々の暮らしの中で「無理なく楽しく続けられる小さな習慣」の積み重ねが乳児の発達を支えることを知り、笑顔で帰れることを目指した。対象者は、赤ちゃんとの暮らしに不安があったり、安心して外に出ることができる環境を求めている。子連れで初めて戸外に出る人も多く、これからの子育てが楽しいものになるようにと支援者も祈るような気持ちで接し、よくここを尋ねてくれた…と出会いに感謝にも近い気持ちを持つことがあった。子育ての日々の中での「驚きと発見」「不安と悩み」を誰かと共有したい気持ち、自分の子より少し大きい子の様子を見て見通しを持って安心して帰る様子が印象に残った。

■ 時　　間　10時～12時（要申込）
■ ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　助産師・保健師・看護師　村口裕美さん
■ 開 催 日　①5/23 ②6/14 ③7/25 ④8/22 ⑤9/11 ⑥10/4 ⑦11/7 ⑧12/3 ⑨1/23 ⑩2/28 ⑪3/25
■ 対　　象　0歳児と保護者・定員12組程度

0歳さんの日

運営内容・アドバイザーの振り返り・お母さんの悩み

アドバイザー　村口裕美

運営内容（10:00〜12:00）		会場の様子など	アドバイザーより（聞き取り・振り返り）
①2019年5月23日(木) 9:50〜 受付・歓談・質問回収・ふせん 「離乳食について聞きたいこと」 「困り事」 10:25〜 グループセッション 村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:45〜 アンケート 11:55〜 片づけ	午前	3組、6〜9ヵ月。 落ち着いた雰囲気の中でお母さんたちが村口先生のお話を聞いたり質問されていた。	● 離乳食のステップができないなどの悩みを中心に話題が弾んだ。 ● 遊び方、体の使い方の違いを各々に見ながら、体と心の繋がりに気づいてくれるよう会話を促した。 ● 食べられない理由と体とお口の繋がりを伝えるとみなさん納得された。 ● 食具の選び方、姿勢の大切さを理解された。
	午後	村口先生の周りにお母さんたちが集まり熱心にお話を聞く。	● 赤ちゃんには関わりが大切ということが伝わるといい。
②2019年6月14日(金) 9:45〜 受付・歓談・質問回収・ふせん 「先生に聞きたいこと」「お悩み事」 10:40〜 手遊び 10:45〜 村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:50〜 アンケート	午前		● 心配事に関してみんなで共有しながら、子の成長・発達を考えられる母親になれることを願いながら、アドバイスを行った。 ➡個別に月齢ごとに振り分けた質問事項の説明を行った。生活に沿った困り事などもあり、ほかの母らのアドバイス、意見なども増えていった。 ● 9ヵ月の男児。うつぶせを嫌い、這わない、よく泣く。 ➡当面、母ができると思われる子どもとの接し方について実践した。経過を見る必要があるのだが、どこにつなぐのがいいのかを迷う。
	午後	2歳6ヵ月児、スタッフとマットやボブルスを高く積み上げ一番上にロディを載せる遊び。	● 離乳食を食べながら、遊びながら、家庭にいるかのような交流が見られていた。 ● 馴染みの関係の親子。親子ともリラックスできている。ママ友の在り方のモデルになりそう。
③2019年7月25日(木) 9:50〜 受付・歓談・質問回収・ふせん 「先生に聞きたいこと」「困り事」 10:30〜 ハイタッチセッション「ドレミの歌」 10:35〜 グループトーク 11:15〜 村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:50〜 アンケート・片づけ 11:55〜 手遊び「きゅうり」	午前	10組。半数が新規の親子。6ヵ月の双子の母が次回から母一人なのでどちらか一人だけ連れてきた方がいいか尋ねられた。サポートするのでお二人でとお伝えする。	● 2ヵ月から10ヵ月までの赤ちゃんたちだったので発達の過程、体の繋がり方を学ぶには最適で、グループごとの心配事など細かい援助ができた。多くの質問は生活の中で解決できるものばかりだと伝え、安心させる努力をした。 ● 昨日来所された双子の親子。午前中終了後、少し時間を取りアドバイスできてよかった。
	午後	2歳児と1歳児が元気に遊ぶ。最後に絵本を読むと何人もが絵本の前にぴったりとくっついて夢中な様子だった。	● 親子で仲良く楽しく遊んでいた。 ➡保育士さんのリードのよさに子どもたちが更に楽しむ様子が見られた。
④2019年8月22日(木) 9:50〜 受付・歓談 10:35〜 あいさつ ハイタッチセッション「ドレミの歌」 10:45〜 グループトーク （あまり会ったことない人と） 11:20〜 村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:35〜 アンケート 11:50〜 手遊び	午前	9組中5組が新規か数日中に登録された親子だったが、みなさん積極的に話されてグループトークでは盛り上がっていた。	● 「生活リズムが思うようにならないのはなぜかなぁ」などの直接的な子育てでの困り感が多かった。親のリズムに合わせている赤ちゃんもいるよと伝えると「赤ちゃんすご〜い」などの笑顔あり。 ● 抱っこの時期、母は少々疲れる。 ➡「通常は今だけですよ〜」と抱っこの必要性を伝えると納得された。 ● 子どもに「ダメ」と言い過ぎてしまう。 ➡「あぶ!」「めめ!」などの言葉に換えてルールを教えるといいと伝えた。
	午後	13組の親子。（0〜2歳）みなさんが15時まで残って遊んでくださった。お母さん同士も最後までお話が弾んでいた。	● 生後3ヵ月〜多くの親子とふれあいの姿があった。月齢ごとのふれあい方をアドバイスしながら困り事（上の子の赤ちゃん返りetc）へと話題の共有ができたことがたいへんよかったと思う。
⑤2019年9月11日(水) 9:50〜 受付・歓談・質問回収・ふせん 「先生に聞きたいこと」 「ほかのお母さんに聞きたいこと」 10:40〜 あいさつ ハイタッチセッション「ドレミの歌」 10:50〜 グループトーク「質問、授乳、離乳食etc」 11:30〜 村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:50〜 アンケート　WAMから2名ヒアリング	午前	6組の親子。のんびり過ごされる。人数も少なく、シェアタイムも長くとれたので質問がしやすい雰囲気だったように思う。	● NICU（集中治療室）退院後2ヵ月の親子にみんながふれあう時間がよかった。 ➡自宅での生活（入浴、抱っこなど）へのアドバイスができた。 ● 2ヵ月児の母。初めてだが、笑顔がよく周りを惹きつけ、会話が弾んでいた。母乳育児への知識を伝えると喜ばれていた。
	午後		● 午前中の関係のよさは昼食後も続いており、赤ちゃんたちも満足気で昼寝したり、ほかのママへ甘えてみたりなど、いい光景が見られた。 ➡雑談に入ることで、話題に深まりを感じた。
⑥2019年10月4日(金) 9:50〜 受付・歓談・質問回収・ふせん 「先生に聞きたいこと」 「赤ちゃんの好きな遊びは??」 10:35〜 あいさつ・ハイタッチセッション 「おもちゃのチャチャチャ」 10:40〜 グループトーク 11:15〜 村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:50〜 アンケート	午前	よく参加してくださる親子が多く、お母さんたちもリラックスされていた。ほかのお母さんのお悩みに頷いて共感している姿も見られた。	● 生後6〜11ヵ月の赤ちゃんたちとママ。各々の月齢の育児困り感を共有することはお母さんたちの学びとなっている。 ➡グループトークの中でざっくばらんな会話が互いを成長させているかに見えた。 ● 6ヵ月（女児）反りが強く立とうとする。よく泣く。 ➡手、足のマッサージの必要性を伝え、家庭での実践ができることを願った。 ● 嫁としての立場で子どもを義父母に預ける際の困り事を話し合った。 ➡互いを気遣いながら、赤ちゃん中心に生活できることを願った。
	午後	13組の親子。（0〜1歳）お子さんたちがそれぞれに遊ばれていて、お母さんたちが側で寄り添い見守っていた。	● 昨日来られた親子来所。親子の笑顔がいい。 ➡母にしがみつく赤ちゃん（good!!） ● 2ヵ月。便が出ない。向き癖。 ➡マッサージ、授乳の姿勢などアドバイスした。 ● いつものまったりムードの中でスタッフも母親も一つになってBabyと接するひとときであった。とてもいい環境!!

0歳さんの日　運営内容・アドバイザーの振り返り・お母さんの悩み　アドバイザー　村口裕美

運営内容（10:00～12:00）		会場の様子など	アドバイザーより（聞き取り・振り返り）
⑦2019年年11月7日(木) 9:50～受付・歓談・質問回収・ふせん 「先生に聞きたいこと」 10:45～手遊び 10:50～村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:50～手遊び「いちりにりさんり」 「大きな栗の手の下で」 「いっぽんばしこちょこちょ」 11:55～アンケート	午前		● 離乳食とその周辺に悩まれている方が多い。 ➡手と目と口の協応動作、上半身の使い方について赤ちゃんをモデルにやることができたことはたいへんよかった。 ● 6ヵ月児2人。反りの姿勢が多い。離乳食、口を閉ざして受けつけない。 ➡触覚の課題。個別の遊びを観察、アドバイスができてよかった。 ● いつものように和やかな時間。スタッフの配慮に感謝します。
	午後	午前参加の親子もたくさん残られたので、9組で食べるにぎやかなランチタイムとなった。	● 5～6ヵ月児3人。友だちママが種々なお悩みを共有しながら来ていた。 ● 5ヵ月児：やや反り気味。ずっとマスク。 ● 6ヵ月児：よく泣くお子さん。ほとんどマスク。授乳に1時間かかる。 ● 6ヵ月児：母は産後体調不良ときどきあり。反り気味。小児科受診しても生活指導がもらえないのでこの場が嬉しいとのこと。
⑧2019年年12月3日(火) 9:50～受付・歓談・質問回収・ふせん 「おうちで赤ちゃんに話しかけていること」 10:40～あいさつ 10:45～ハイタッチセッション 「おもちゃのチャチャチャ」 10:50～グループトーク（2グループ×2） 11:20～村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:50～アンケート 11:55～手遊び「ぞうきん」	午前	7組中3組が新規の親子。ぬいぐるみを使って抱っこの仕方をレクチャー。	● 本日のテーマ「赤ちゃんに話すときの気遣い」子育て中は母親として一方的に接してしまいがち。そんな状況を理解しながら感情を短い言葉で赤ちゃんに伝えるよう提案した。 ● 3ヵ月、助産所通所中の第一子。自信のない抱き方、赤ちゃんの扱い方。反り返って母乳を飲まなかった。母の体の様子に合わせたアドバイスを行う。
	午後	5組。お子さんたちがボブルスやお母さんの膝の下をくぐって遊ぶ。	● 10ヵ月～1歳7ヵ月のお子さんと母親。互いに遊び、和気あいあいで楽しそうだった。「手」の使い方、指導の必要性を感じたために遊びながら伝えることにした。手のマッサージ、トンネルくぐり、歩行時の手の使い方について実践すると「なるほど!!」と母親も一緒に行なうことができた。
⑨2020年1月23日(木) 9:50～受付・歓談・質問回収・ふせん 「食べること」「お悩み全般」「風邪対策」 10:40～あいさつ・抱っこの仕方(村口先生) 10:50～ハイタッチセッション 「おもちゃのチャチャチャ」 10:55～グループセッション（3グループ×15分） 11:30～村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:55～手遊び 12:00～アンケート　見学：細川良子（管理栄養士）	午前	管理栄養士さんにもお話をしていただきお母さんたちも興味津々だった。	● 初心者がお一人。ほかは何度か足を運ばれているお仲間同士だった。和やかに伝えたいことを母同士で語り合っておられた。Babyも大声で泣くお子さんはいなかった。細川栄養士さんの飛び入り参加も受け入れよく効果的な時間だった。
	午後	4組（0～1歳）。のんびり過ごせた。よく来られる1歳8ヵ月児、午前中に使ったふせんを貼ったボードからふせんをはがすのが好きで今日もしてくれた。初めて会う細川先生にも恥ずかしそうに歩み寄っていた。（ボールのやりとり）	● 8ヵ月男児…目線が若干気になるが母の愛をしっかり受けて育っておられるので観察しながらアドバイスしていくことが課題。 ➡スタッフ全員で対応してくれた。感謝です。 ● 1歳8ヵ月女児…歩き始めた喜びを伝え、みんなで楽しく遊んであげられた。
⑩2020年2月28日(金) 9:50～受付・歓談・質問回収・ふせん 「赤ちゃんとどんな生活をしているか」 「困り事」「先生に聞きたいこと」 10:35～あいさつ ふれあい遊び「大根の一本漬け」 10:40～村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:55～足裏マッサージ 12:00～アンケート	午前	コロナウイルス感染予防。部屋の換気。手、机のアルコール消毒。クレベリン。こまめなおもちゃの消毒。	● 人数。キャンセルもあったが、ちょうどいい感じでスタートできた。 ➡みんなが同じ気持ちになられていると感じていい。泣く子が全くなし。 ● 我が子の「ここが気になる」に応えてあげられたこと。そのことへの共有できたことが母親から積極的に発言が得られた。 ➡個別性も理解され始めている母もいる。「発達」への理解度が増しておりいい傾向。 ● 食べ方、お口の手入れなどいつもと同じ内容が目立つ。 ➡どのように食べているか、そのときの母の気持ちや環境がわかるといいのだが…。
	午後	よく来てくださる常連の親子中心だった。お子さんたちも場所やスタッフに慣れていてお母さんたちもリラックスされているようでよかった。	● 各々の親子は子どもを通しながら明るく談笑されている。 ➡子ども同士も仲良く遊んでいる。ときにものの取り合いする姿も見られるが親たちの表情はいい。 ● ボブルスも使いながら楽しんでいる。また月齢に関係なく「同じおもちゃ」を使うことができていていい。 ➡3ヵ月児の個別の相談ができる余裕あり。
⑪2020年3月25日(水) 9:50～受付・歓談・質問回収・ふせん 「先生に聞きたいこと」 10:20～あいさつ 10:30～村口先生アドバイス・共有・質疑応答 11:40～ふれあい遊び「きゅうり」 11:45～アンケート	午前	コロナウイルス感染予防。部屋の換気。手、机のアルコール消毒。クレベリン。こまめなおもちゃの消毒。	● 人数が少なかったが母子の遊ぶ様子、発達の程度が言葉にしやすい環境だった。 ➡「ハイハイ」「おすわり」の基本となる体の使い方について具体的に伝えることができた。質問も多く母たちも納得された様子を判断できた。
	午後	6組。3歳4ヵ月児、最初は10ヵ月児が自分の遊んでいたミニカーをさわろうとすると怒っていたが途中から「どうぞ」ができるようになった。	● 個別の課題を持ちながら成長されているお子さん2人（母は友だち）はよく泣き、扱いにくい状況だった。10ヵ月児は毎月小児科で経過観察している様子はあるが、生活へのアドバイス、育児フォローはなされていない。母も涙で苦しさを伝えてきた。 ➡個別。初対面だったのでアドバイスは行ったが家庭での継続ができるかどうかはわからない。「様子を見ましょう…1歳になるまで待ちましょう」と言われながら小児科へ月1回通っている姿を見守ることは実に悲しい現実である。

「0歳さんの日」アンケート内容①

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
30代	とても満足	少人数でアットホームな雰囲気で、気軽に相談や話ができた。	あった	離乳食や飲みものの与え方を改めてきちんとしようと思った。	すべてつながっている。(体と食)	
30代	とても満足	悩みを解決できたから。	あった	スプーンの大きさ。水分補給の仕方。		
30代	とても満足	日頃、感じていた悩み、心配事を先生から聞くことができてよかった。向き癖は生まれたときからあり、頭の形が気になっていたので、体自体の動きを少しずつ整えていきたい。	あった	体の使い方を教えてもらったので、実践してみる。遊ぶときの声かけなど。夜間しっかり授乳する。離乳食のときの口の動きを見て、声かけしながら飲ませる。	少し前に行った赤ちゃんひろばのときは、泣いてたいへんだったが、今日は先生方に慣れ、娘が笑顔で遊んでいたので、とても嬉しかった。家でも「遊んでいる」ことを意識して遊ぶ。	楽しくゆったりさせてもらって、相談できてリフレッシュできた。また来月参加する。
20代以下	とても満足	お話だけでなく、実際にふれて指導してくださったので、わかりやすかった。	あった	寝かしつけのアドバイスをしてもらってできるようになった。	ミルクと離乳食の話。	
30代	とても満足	一つ一つの質問にじっくり関連づけて教えてくださった。	あった	母親の食事内容を見直してみる。	離乳食もいろいろな食材を試してみる。	
30代	とても満足	悩みを相談できた。月齢の近い子とふれあえた。	あった	離乳食の与え方。	しっかりさわってあげる。	同じ悩みがあり安心もした。
30代	とても満足	自分の悩み、いろいろな人の悩みを共有できたし、先生が関連づけて話してくださるのがよかった。	あった	対策を自分の子の体を使って示してくださったり、わかりやすく実践しやすい方法で教わることができたので、帰ってからも取り組んでみようと思う。	スキンシップが遊びに偏りがちだったので(基本は母乳だから抱っこはしている)ゆとりのある時間にも、抱っこで外を眺めてみたり、話をしたりしなきゃなあと思った。9ヵ月と10ヵ月の境目=お姉ちゃんは9ヵ月から保育園デビューせざるを得なかったので、かわいそうなことをしたが、その分、よく熱を出して帰ることがあった。お母さんまだ一緒にいたいよのサインだったのかなと振り返りながら話を聞いていた。	
30代	とても満足	質問したことにきちんと答えていただき満足。遊び方についてほかの方にも教えていただけてとても参考になった。	あった	ハイハイが始まってサークルを使い始めたが、そのうちそれも使えなくなるので、今のうちに片づけて、どこでも行けるようにしたい。	「お母さんの無理のないように」という言葉が嬉しかった。年齢を感じながら子育てしているので、自分の体と相談しながら、娘としっかり遊びたい。	
40代	とても満足		あった		また来ます。	
40代	満足	日々の関わりを考えるきっかけになった。	あった	一人で遊べるから放っておくのではなく、もう少しこちらからの関わりを増やさなくてはと思った。		
20代以下	とても満足	寝返りのコツを教えてもらった。うた遊びが楽しそうでよかった。	あった			
20代以下	とても満足	自由な時間もあるし、学べる時間もあるし、とても充実していた。	あった	発達の特徴や遊びを知ることができた。	体の成長についてマッサージや運動がとても大事なこと。口の成長ができないと離乳食が進まないこと。	
20代以下	とても満足		あった			
20代以下	とても満足	専門の人の話やほかのママさんと話ができてよかった。	あった	同じような悩みを共有できた。		また参加したい。
30代	とても満足	いろいろな話が聞けて勉強になった!	あった	これから実践できそうなことを聞けたのでやっていきたい。少し先の月齢の話なども参考になった。		
30代	とても満足	いろいろ質問に答えていただいて嬉しかった。とても参考になった。	あった	昼食の食べが悪いときは、切り上げて遊んでみようと思う。コップ飲みを頑張ってお口周りの筋力をつけさせたい。	ご飯の途中、赤ちゃんせんべいをほしがるのに悩んでいたが、先生が「それは自信を持ってこれを食べたいんだというものがあるのはいいことで誉めてあげたらいい」と言われたのが印象に残った。	もっと早く知りたかった!ありがとうございました。
30代	とても満足	細かい悩みを相談できた。	あった	口周りの困り事=体の発達なので、ずりばいやハイハイをしっかりするようになると治るかもしれないと知れた。昼寝は2時間に食い込まないこと。	口周りの困り事=体の発達。	いかしの舎での開催が増えたらいいなと思う。
30代	とても満足	近い月齢でグループを作ったので、話しが合うのがよかった。	あった	5ヵ月や7ヵ月の子の悩みを聞けたので、これからの心構えができた。	2〜4ヵ月は劇的な成長のとき。肩、首を鍛えることが大事。運動の仕方を調べてすぐやってみようと思う。	

「0歳さんの日」アンケート内容②

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
40代	とても満足	村口先生がお母さん方の質問に丁寧に答えられており、どれも参考になった。似たような悩みを持たれる方もいて心強かったし、共感を得られた。	あった	聞かせてもっらた話すべてが参考になった。	午前中は赤ちゃんにとってのゴールデンタイム。口腔内の広がり。	また参加したい。
40代	とても満足	いろいろな月齢の方の質問が聞けた。	あった	マッサージの大切さ。		離乳食の試食会。
20代以下	とても満足		あった	月齢が上のお母さんからいろいろアドバイスが聞けて安心した。		
20代以下	とても満足	ほかのお母さんとの交流や村口先生の話がとてもためになった。	あった	子どもの遊び方など外に連れ出して行かないと!とすごく思っていたけど、家の生活音でも十分刺激になるんだと。	村口先生の話を聞けてよかった。子ども同士で遊ばせる。親が間に入っていかなくていい。	初めての参加だったが、これからもぜひ参加したい。
30代	とても満足	困っていることを共有できた。	あった	体の使い方を教えてもらった。		
30代	とても満足	ママさんたちと悩みを話せること。	あった	子ども同士の遊びは親が入らない。	家の中では、お母さんが笑っているだけでいい。	
30代	とても満足	先生の話がとても勉強になった!	あった	いろいろな方と話できて情報収集できて勉強になった!	赤ちゃん同士で遊ばせるときは「ダメ」と言うのではなく、しばらく交流させてみる。	
30代	満足		あった	遊び方がよくわかってよかった。		
40代	とても満足	村口先生の話もとても興味深い。	あった		家では遊ばなくていい。生活音を聞かせるだけでいい。朝5時までに目覚めるのは気圧の関係。	
40代	とても満足		あった			
30代	とても満足	様々な月齢の子たちやお母さんと交流できて楽しかった。うたや先生の話もとてもためになった。	あった	夕方の離乳食は17時まで。		
30代	とても満足	先生に相談したり、ほかのママさんと話ができて楽しかった。子どもより楽しんだかもしれない。	あった		「子育てが楽しい」と私も笑顔で話しているママさんを見て、私も「楽しい」と言い続けたいと思った。	
30代	とても満足	たくさんのママや赤ちゃんと関われてよかった。	あった	母乳のことや2ヵ月の子の遊びについて知ることができてよかった。	赤ちゃんはママからいろいろ学んでいく。	ゆっくり助産師さんとお話しできる機会があまりないのでよかった。
40代	とても満足		あった			
30代	満足		あった	質問しやすい雰囲気なのでありがたい。		畳の施設で駐車場もあってゆっくりできた。
30代	満足		あった			
20代以下	とても満足	みんなで話ができてよかった。	あった	様々な考え方が聞けてよかった。		
30代	とても満足		あった		愛情は赤ちゃんに伝わる。	
30代	とても満足		あった	おじいちゃん、おばあちゃんへの関わり方についてほかの方の意見が聞けてよかった。参考にしたい。		
40代	とても満足	聞いてみたかったことが聞けてよかった。	あった	ほかの方の悩みも共有できてよかった。		
40代	とても満足	体勢的に反りやすい理由がわかってよかった。	あった	発達に関してやるべきことがわかってよかった。	祖父母と関わりについて聞けてよかった。	発達に関する話を聞ける機会があると嬉しい。
20代以下	満足	聞きたいことをゆっくり聞けた。	わからない			
20代以下	満足		わからない			
30代	満足	いつも参考になる話が聞けて楽しい。	あった		ひいおばあちゃんにたくさん抱っこしてもらう。	
20代以下	とても満足	知りたかったことを知ることができた。	わからない			
20代以下	とても満足		あった	毎日できる手遊びが知りたかったので、教えていただきありがとうございました。	授乳は1歳までだと思っていたので、長くして大丈夫だと聞いて安心した。	
30代	とても満足	アドバイスがたくさん聞けた。	あった	体の仕組みを教えてもらえた。		

「0歳さんの日」アンケート内容③

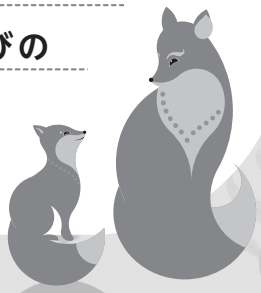
年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
30代	とても満足	村口先生の話の時間が長かったのでとても勉強になった。	あった	インフルエンザの予防接種の話。卒乳の話。		
30代	とても満足	毎回新しい情報が得られて、とても育児する上で参考になるし、目指すところがはっきりするので、いろいろな情報に振り回されないので安心して過ごせている。	あった	足をつけて食事をさせてみる。		
30代	とても満足	知りたいことを知れたのでよかった。	あった	インフルエンザの予防接種について。卒乳、断乳について。		
40代	とても満足	離乳食について食べない不安があったが、みんな同じようなことを経験されていて安心した。	あった			
30代	満足		あった	先生に質問できた。	いちり・にり・さんり・しりしりしり♪	
40代	満足	いろいろなことがわかった。	あった			
40代	満足		あった			
40代	満足	いろいろな赤ちゃんの視点がわかってよかった。	あった	反る理由や対策がわかってよかった。		発達する遊びが知りたい。
40代	満足	いろいろ話が聞けた。	あった	カミカミの食材がわかった。		
20代以下	とても満足	同じ月齢の子と悩みを共有できたのでよかった。	あった	積極的にコミュニケーションを取ることが大切だと思った。	ミルクだけで育てても、子どもとコミュニケーションをしっかり取ることが大事だということを知った。	
30代	とても満足	村口先生の話を聞けて勉強になった。	あった	日々のことばかりにマンネリを感じていたので、つけ加える言葉を教えていただけて嬉しかった。	授乳後の「おいしいね」選択や楽しみを感じさせる言葉かけ。	
30代	とても満足	いろいろなおもちゃで遊べる。	あった	声かけについて学べた。		
30代	とても満足	専門職のアドバイスが聞けたり、子どもへの接し方を見られて参考になった。	あった	声かけのより効果的な+αの方法(「寒いね」だけでなく、外に出て冷たい風に当たって「冷たいね」という感覚を付加するなど)を聞けたので実践したい。ほかのお母さん方との意見交換で、同じようなことを感じているという安心感があった。	子どもの「感覚」を育てる、大事にするということ。自律性とはそういうことだなと改めて感じた。	
30代	とても満足	ベテラン助産師さんの話が聞けてよかった。小野先生にも会えてよかった。	あった	何気なく声をかけて慌ただしく日々過ぎていたので、今日の話のポイントを生かしてみようと思う。	「夕方、外に出てみましょう」というのを長男、次男について自然とできていたのでよかったなあと思った。	
30代	とても満足	同じ月齢のお母さんたちと情報交換できた。悩んでいたことを専門職の方に教えてもらって勉強になった。	あった	抱っこの仕方。寝そうなときにお乳をあげるとぐずらず飲んでくれる。前なら飲ますのを諦めて寝かせていた。		
40代	とても満足	いろいろな月齢の赤ちゃんにふれあうと、今までのことを振り返ったり、これからのことが具体的にイメージできるので勉強になる。	あった	ほかのお子さんとの関わり。少しずつ興味が出てくるのかなと思った。		
20代以下	とても満足	ママさんたちと交流ができた。勉強になった。	あった	寝かしつけの方法を知れた。		
20代以下	とても満足	同月齢のママたちの悩み相談ができてとても参考になった。	あった	横に寝かせると泣きやすいが頭から寝かせるといいと聞いたのでやってみたいと思う。		また遊びに来ます!
20代以下	とても満足		あった	お米を食べない理由がちょっとわかった。	お米をおやきにすると食べる。	
30代	とても満足	離乳食のことは気がかりがいっぱいだったので、たくさんお話が聞けてよかった。大きい月齢の子たちの話も聞けたので見通しが持ててよかった。	あった	離乳食のときは足がきちんとつくといい。後期に入るまでは量を気にしなくていい。		とても勉強になるが、メモを取りにくいので覚えて帰られるか心配だったのでまとめありがたいです!!
30代	とても満足	同じ月齢のお母さんのお話が聞けてとても参考になった。	あった	同じ月齢の子が実際にどのように寝ているのか、どのような対策をしているのか知ることができた。		

「0歳さんの日」アンケート内容④

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
30代	とても満足	いつも落ち着いた雰囲気でとても安心できる。ちゃやっこの0歳さんのひろばより少人数なので話も弾み、子どものびのびと楽しそうだった。	あった	お昼寝や寝るときに足元を温めることが便秘にも効果があるということ。食べものや運動には気をつけていたけど、その角度からもやってみようと思う。	ハイハイをたくさんすると足の裏の発達が違ってくることに驚いた。	今回で0歳さんは卒業になります。初めての育児でわからないことばかりでしたが、村口先生をはじめ、様々な方のアドバイスやお話のおかげで、心穏やかに毎日過ごせて無事に1歳を迎えられそうです。これからもよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。
30代	とても満足	同月齢のお母さんにいろいろ役立つことを教えてもらった。	あった	離乳食で足をつけて食べさせてみようと思った。		
30代	とても満足		あった			
40代	とても満足	子どももしっかり遊んでくれ、同じ月齢のママとも話せた。	あった	食事の環境のこと。		
40代	とても満足	先生からの情報とほかのママさんからの情報とためになるものがたくさんあった。	あった			
30代	満足	近い月齢の子やお母さんたちと情報交換ができた。	あった	子育てに悩んでも「目標高く、努力少なく」で長くやっていけるようにしていきたいと思った。		
30代	とても満足	人数が多すぎず、月齢の近い人も多かったので悩みに共感できた。	あった	手づかみ食べの具体的な直し方がわかった。		
30代	とても満足	村口先生のお話をたっぷり聞けて勉強になった。	あった	足の親指を刺激したりハイハイで使うように支援すると、骨盤の動きも促すことができる。		
30代	とても満足	いつもそのときのちょっとした疑問に答えてくださるのでありがたい。おかげでヤフー知恵袋とかに聞かなくてすむ。	あった	昨日に引き続きハイハイを見てもらえて本人も得意気だった。		
30代	とても満足		未記入	足のマッサージなども大切だと再認識した。		
30代	とても満足	村口先生にたくさん遊びのアドバイスをいただけたのでよかった。	あった	ボールを投げて目で追うようにしてみるということはあまりやっていなかったので収穫だった。		同月齢や大きい月齢の赤ちゃんとふれあえていつも楽しそう。
30代	とても満足	いつも同様、テーマに沿った意見交換と先生からのアドバイスがとてもためになり、また同じような悩みをほかのお母さん方も持っていることに安心感を覚えた。	あった	つかみ食べの始め方に二の足を踏んでいたが、アドバイスをいただいたので早速やってみようと思う。	「○○が好き」「得意」な子は…とそれぞれの個性に合わせたアドバイスに「そのままで大丈夫」と添えてもらえてとても心強かった。	
40代	とても満足	同じ悩みを持っているんだなあとか私だけじゃないと思えた。	あった	ほかの子と関わっている我が子を見るのは嬉しい。		
30代	満足	いろいろな月齢のお母さんの話が聞けた。	あった		ふれあい、話しかけが大事。	
30代	満足	悩みが解消された。	あった	同月齢児のことについて知ることができた。		
30代	とても満足	ハイハイのときに顔が上がっていると言われて初めて気づいた。	あった		下を向かせるように心がける。	
30代	とても満足	数人数だったが、ゆっくりお話が聞けたのでよかった。	あった	うんちが硬いときは油分を少し与えた方がいい。野菜スープも食べさせるといい。		
30代	とても満足	聞きたいことの答えが聞けた。	あった	動き方がゆっくりなので、心配事を丁寧に教えてもらえた。	首の後ろ、こんにゃく湿布、手の平。	ぜひ助成金を!!
30代	満足	助産師さんにいろいろ教えてもらえてよかった。赤ちゃんのこともわかってよかった。	あった	あった出産についての心構えができた。		

赤ちゃんと遊ぼう

生きていくために必要な様々な感覚を、外からの刺激で身につけていく赤ちゃん。だから、日々の遊びは赤ちゃんの発達にとても大切です。おうちでの遊びの幅が広がるように、乳幼児の発達に詳しい作業療法士・引野先生に、遊びのヒントを学びます！



■ 狙いと対象者について

0歳児－1歳児の育児（遊び）の立ち上がりの支援を目的に、身近にロールモデルがなく接し方がわからない保護者が、たくさんの赤ちゃんに接し、気楽な雰囲気の中で相談したり悩みを共有できる居場所を目指した。人気の高いプログラムで、いつもキャンセル待ちが出る状態であった。それだけ「赤ちゃんと遊ぶ」ということについて難しさを感じる保護者が多かったということと、作業療法士という乳児の分野であまり見かけない専門職に見てもらえるということも動機になっていたようだ。細やかにアドバイスを受けて家で実践し、慣れてくると午後のノンプログラムに参加して、こどもの成長発達に見通しが持てるようになっていく様子が見て取れた。

■ 時　　間　10時～12時（要申込）
■ ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　作業療法士　引野里絵さん
■ 開 催 日　①5/22 ②6/12 ③7/24 ④8/20 ⑤9/12 ⑥10/2 ⑦11/9 ⑧12/5 ⑨1/22 ⑩2/27 ⑪3/24
■ 対　　象　0-1歳児と保護者・定員10組程度

赤ちゃんと遊ぼう　運営内容・アドバイザーの振り返り・お母さんの悩み　アドバイザー　引野里絵

運営内容（10:00～12:00）		アドバイザーより（聞き取り・振り返り）
①2019年5月22日(水) 10:00～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「遊びについて」「発達について」 「引野さんに聞きたいこと」 10:40～ ハイタッチセッション 10:45～ 2グループに分かれて自己紹介・悩みの共有 11:20～ 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 「ものを投げるということ」 「年齢に応じた遊びの特徴」 「離乳食(味、落ち着いて食べない)」 「動き出したときの家での遊び」 「かすかな音・ライヤー」 11:50～ アンケート 12:00～ 手遊び	午前	● 遊びよりも、動きや離乳食など暮らしの悩みが多い傾向。 ● 母乳は虫歯になるから早く断乳した方がよいと言われたと複数の1～1歳2ヵ月のお母さんたち。歯科医師からも言われたとのこと。 ➡免疫を高めるとも言われているのでお口遊びでよだれをアップするなど、口腔内の衛生面を配慮したらどうかとお伝えする。 ● 個別に椅子の相談。せめて足を乗せれるように。工夫できたら。 ● ライアー。かすかな音だが、子どもの感覚は十分に音を聞きとっている。 ● 言って聞かせることは大事だが、文化・しつけなどは、習慣として習得していくので大人の根気も必要。大事にしたいことの価値、枠組みを明確にして。
	午後	● 幼児の動きが活発だったが、空間を区切ったり、遊びの誘導でダイナミックに遊ぶ時間が持てたことはよかった。もっとダイナミックに! ● 手づかみ食べがなぜ必要かについて発達とのつながりについてお伝えする。ご家庭の事情や母のキャラクターによっても異なるので、できるところから…。
②2019年6月12日(水) 9:45～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「遊びについて」「発達について気になること」 「引野さんに聞きたいこと」 10:30～ 手遊び～ グループセッション 「分かれて自己紹介・悩みの共有」 11:35～ 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 11:45～ アンケート	午前	● 3ヵ月さん。手で持つことができない。どう遊ぶか。視線を合わせる。顔を近づけたり、遠ざけたり、口や表情の動き、手遊びなどで遊ぶなど、ふれあい遊び、コミュニケーションも遊びであることをお伝えする。 ● 抱っこの仕方を3ヵ月、6ヵ月のお母さんに伝える。
	午後	● 午後から参加のお母さんが午前に出た相談や話題提供のふせんを見て、質問をされたことがよかった。また、引野とお母さんが話している話題にほかのお母さんも参加されることもあり、少人数ならではの雰囲気で話ができてよかった。 ● 少し小さく生まれた赤ちゃん。専門機関にすぐに相談した方がいいかとの問い。運動発達のゆっくりさはあるが、今すぐでなくてもよさそう。3～4ヵ月一緒に経過をみていきましょうとお伝えする。
③2019年7月24日(水) 9:45～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「遊びについて聞きたいこと」 「発達について気になること」 「引野さんに聞きたいこと」 10:30～ ハイタッチセッション「ドレミの歌」 10:35～ グループセッション 11:15～ 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 11:30～ アンケート・個別相談 11:50～ 片づけ・手遊び	午前	● 最初のドレミの歌の体を動かして遊ぶのがよかった。アイスブレークとしても親子遊びとしても!! ● おもちゃ=遊び、おもちゃを知りたい。どう遊んでいいか??という疑問が3～7ヵ月くらいのグループに多かった。大人自身が遊び道具にもなり得る。ふれあい遊びや声かけや大人の表情でも子どもは注目し、遊びになることも。そのほか、子どもは動くこと自体を楽しんでいることがある。 ● 2歳までに暑さ、寒さ、お腹すいた!を感じることも大切。
	午後	● 昨日友だちと遊べたことが楽しかった男児、帰宅後もずっとおしゃべりしていたとのこと。今日は同じ月齢の男児にも興味を示し、大人の介入は必要だが同じ遊びを順番に繰り返す。子どもたちとスタッフが遊んでいるとお母さん同士が子どもを見守りながらもおしゃべりを始められるのでそれもいいように思う。 ● 個別相談2件。
④2019年8月20日(火) 9:45～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「遊びについて聞きたいこと」 「発達について気になること」 「引野さんに聞きたいこと」 10:30～ あいさつ・ハイタッチセッション「ドレミの歌」 10:45～ グループセッション 11:20～ おもちゃの紹介 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 11:35～ アンケート・個別相談 11:55～ 片づけ・手遊び「きゅうり」	午前	● 2つのグループに分かれて話をしたが、年長の方のグループはお子さんの動きや機嫌もありまとまりにくかった。話をしたい、遊びたいというよりも教えてほしいというお気持ちがあったかな?年齢の近いグループは竹内先生が入ってくださったので話が盛り上がっていて雰囲気がよかった! ● 歯磨きを嫌がる。トラウマにならないか?? ➡OK。見通しを持って(うたなど)で磨く習慣をつけていくことが大事。
	午後	● 1歳2ヵ月児。午後の時間中に手放しの立位ができるようになり、段差も積極的に上り下り(四つ這い)する。表情もいい!!母には膝立ち～座る、つかまり立ち～しゃがむなど腰、骨盤、股関節周囲の筋力↑や動きを促すことをお伝えする。 ● そのほか、個別に課題と感じることを聞き、一緒に観察して、できそうなところからお伝えする。お子さんの心理面の変化、抱っこ紐など道具の使い方、体の細かい部位の使い方、日頃からできるサポートなど、それぞれの月齢にあった対処方法など。
⑤2019年9月12日(木) 9:45～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「遊びについて聞きたいこと」 「ほかのお母さんに聞いたいこと」 「引野さんに聞きたいこと」 10:30～ あいさつ・ハイタッチセッション「ドレミの歌」 手遊び「あたま・かた・ひざ・ぽん」 10:45～ グループセッション 11:45～ 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 11:55～ 手遊び「ぐるぐる洗濯機」・アンケート	午前	● 初参加が多かったが、母同士で話に花が咲いていてよかった。 ● 赤ちゃん期に必要物をレンタルできる業者さんの情報をお母さんが全体にシェアしてくださったのもよかった。 ● 2～3ヵ月のお子さんへの遊び方。どう遊んだらいいのかご自身のバリエーションが少ないことも含めて悩まれることが多い様子。おもちゃで遊ぶことだけでなく母の表情や手足を動かすことなども遊びになること。しかし、子どもの「好き」「楽しい」を探りながらいくことも大事。 ● 抱っこに仕方について。股関節と膝関節が曲がることをポイントとしてお伝えする。 ● 寝返り、ずりばい、歩き方の相談。小さい頃の抱っこの仕方がよくなかった(?)ことを言われたことがあったらしく、今の歩き方が不安定であるのでは??と不安になっておられた。
	午後	● 午後。昨年利用されていたお子さんたちが参加。大きくなった姿を見られるのは嬉しく、その頃の悩みなども解消して、たくましく成長しておられた。 ● 新しく参加された方の悩みに寄り添いつつ、課題を丁寧に見ていく。
⑥2019年10月2日(水) 9:45～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「遊びについて聞きたいこと」「発達に聞いたいこと」 「引野さんに聞きたいこと」 10:35～ あいさつ・ハイタッチセッション 「ミッキーマウスマーチ」 手遊び「ごんべさんのあかちゃん」 10:45～ グループセッション 11:45～ 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 11:55～ 手遊び「お弁当箱のうた」・アンケート	午前	● 月齢ごとのグループ分けに偏りが出て話し合いのスタートにスタッフの介入が必要だった。後半はお母さん同士で話が盛り上がっていたのでよかった。 ● ずりばい、ハイハイ2人、9ヵ月。寝返りをしない5ヵ月。個別にサポート。 ➡月齢で○○できるにこだわり過ぎず、その動きができるための準備の動きも大事。あおむけで足を上げる(ボトムアップ)、うつぶせで手の平をついて頭や胸を上げる(on hands)など。うつぶせ大の苦手の6ヵ月児、泣く。少しずつできることから…。
	午後	● こだわりの強い3歳児、遊びの中で介入しながら、こだわりを少しずつ崩していくことはできる。関わり大事!!母、幼稚園での関わりがとても重要と思っておられる。 ● さまざまな月齢の発達の悩み相談あり。続けて通っている子はその子なりの成長も見られる。

運営内容（10:00～12:00）	アドバイザーより（聞き取り・振り返り）
⑦2019年11月9日(土) 10:00～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「遊びについて聞きたいこと」 「発達について気になること」 「引野さんに聞きたいこと」 10:35～ ハイタッチセッション「おもちゃのチャチャチャ」 新しいおもちゃの説明 10:45～ 好きなおもちゃのとこに集まる 11:30～ 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 「遊びのお話・足を使った遊び」 11:45～ ふれあい遊び「足」「運動会 第一走者」 11:50～ アンケート	午前 ● シェルハブメソッドの受講者の方が2人参加。 ● 初めてグループトークではなく、個別に周る方法で行ってみた。 ● 佐藤先生の最後の手遊びが新鮮で面白かった!! ● 月齢に合った遊び方、おもちゃという質問が多かった。 ➡子どもがやっていることがその子の発達に必要なことである。 ● 「おもちゃ」で遊ぶのもいいが、身近なものやお母さん自身と遊ぶことも大事。子どものやっていることに効果音や声、うたを合わせてみるだけでも子どもは楽しそう。 午後 **「はじめの1000日」北欧視察報告会** 報告者 引野里絵、赤木美子 (13:30～16:00) ■ 参加者 17名（チカク：スタッフ11名） ■ 配布物 レジュメ1部 H30ママぱれっと資料、H30ママぱれっと報告書 ■ 広島、島根、茨城など遠方からもご来場。 ■ 椅子の代わりにボブルスやIKEAのマットを並べて座っていただいた。
⑧2019年12月5日(木) 9:50～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「遊び」「発達について気になること」 「ほかのママさんに聞いてみたいこと」 10:45～ あいさつ・ハイタッチセッション 「おもちゃのチャチャチャ」 ふれあい遊び「ぐるぐる洗濯機」 11:00～ グループトーク(3組×15分) 11:40～ おもちゃの紹介 「しわくちゃボール、カップ、輪、リング」 11:45～ 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 「遊びのお話・足を使った遊び」 11:50～ 手遊び「たまご」 11:55～ アンケート	午前 ● 初めて参加の親子さんが多かったがグループトークでは先生方が入ってくれたこともあり、みんなで話をする様子が見られた。冬の服装や暖房の話になることが多かったので、寒さや暑さをしっかりと感じること大事。汗腺を育てることにつながる。乾布摩擦など肌を擦ることも免疫が高まるとお伝えする。 ● それぞれの様子を母と一緒に見ていく。母子間のふれあいが楽しそうな8ヵ月児。周囲への興味が感じられる。腹這い～飛行機姿勢し始めた5ヵ月児、いい傾向。足指をギュッと握ってグーパーの動きを引き出す。おすわりのとき、手の支持が崩れてしまう。ゆっくり彼のペースで耐久性上げる方法をお伝えする。11ヵ月児、食事の姿勢と口腔の動き。スプーンの入れ方、抜き方。1口量の提案。家でできるような設定で。 午後 ● 新聞、プールや粘土は苦手の2歳児。無理に慣れさせなくてOKとお伝えする。 貸して⇒貸して⇒貸して⇒どうぞのやりとりを理解して「できたね」と褒められることを喜んで繰り返す場面あり。言葉が増えて文章でのやりとりや質問に応えることもできるように。 ● 抱っこをするときに股関節が開かない11ヵ月児。股関節の屈曲が深くなるように抱っこ紐の調整を行う。母、抱っこが楽になったとのこと。
⑨2020年1月22日(水) 9:50～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「ほかのお母さんに聞きたいこと」 「遊びについて聞きたいこと」 「発達についての悩み事」 10:40～ あいさつ・おもちゃのチャチャチャ 10:45～ 手遊び「ひっつきもっつき」 11:40～ 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 「遊びのお話・足を使った遊び」 11:45～ 手遊び「あたま・かた・ひざ・ぽん」 11:55～ アンケート	午前 ● 今回は「眠り」についての悩みが多かった。 ● 遊びのバリエーションが少ないことを気にしているお母さんが多い。 ➡子どもにとっては小さな変化も遊びであること。言葉だけでなく実際にその場にいるお子さんをモデルにしてその子の遊びや反応についてコメントしながらお伝えしてみた。「なるほど」と深く頷きながら聞いてくださるお母さん方が多かった。 午後 ● 昨日利用の親子さんが来られることが多かった。にぎやかだったけどそれぞれ遊び方や場の使い方をご存知なので違和感なく、お子さん同士、親さん同士の交流もあっていい雰囲気だった。 ● 泣いて「帰る!!」と言っているが…トーマスで遊ぶ。トーマスを片づけることで室内を移動すると気が紛れて、母から離れて遊び始める。大人がいると他児との遊びもできた。
⑩2019年2月27日(木) 9:50～ 受付・歓談・質問回収・ふせん 「遊びについて聞きたいこと」 「ほかのお母さんに聞きたいこと」 「引野さんに聞きたいこと」 10:30～ あいさつ・ハイタッチセッション 「おもちゃのチャチャチャ」 手遊び「自転車リンリンリン」 10:35～ 引野さんのお話・共有 10:45～ グループトーク(3組×15分) 10:50～ 引野さんアドバイス・共有・質疑応答 アンケート 11:50～ 手遊び「あなたのおめめはどこですか?」	午前 ● ずっと泣いているお子さんへのサポートが足りなかったかな…。母への話しかけなどもう少し積極的にしてもよかったかも。初参加の親子さんが4組おられた。少し個別に声かけしてもよかったかも…。 ● 3人目の子育て中ということもあり、先輩お母さんとしてのコメントがとてもよかった。(子どもの発達を促すような動きをあえてしてみてもいいのかも…などご経験からのコメントあり) ● 今回は遊びを中心にした内容でグループをしたが3グループだと3グループ目に周ったときに遊びが終息している感があった。2グループくらいがいいのかも…??できれば遊ぶときは裸足で待つこと大事。プロセス大事。 午後 ● 6ヵ月児と2ヵ月児の養育でお疲れ気味の母。上の子、何でも投げてしまうので母怒る。 ➡遊び、注目行為として投げること。投げること自体が遊びと2種あること。 ● お母さん同士でほかのお子さんも温かく見守り関わってくださる方がほとんどで、全体の雰囲気がいいと思った。
⑪2020年3月24日(火) 9:50～ 受付・歓談 10:05～ あいさつ 手遊び「大きな栗の木の下で」 10:10 ～ おもちゃの紹介 10:15 ～ フリートーク・個別相談 11:40 ～ 手遊び「お好み焼き」 11:45 ～ アンケート	午前 ● コロナウイルス感染拡大防止のため、やり方を変更。7組の参加だったので、必要な親子さんとゆっくりお話ができたり、赤ちゃんと関われたのでよかったが、今までと同じプログラムを期待されていたお母さんたちには物足りなかったかもしれない。 午後 ● ルールやマニュアル的に答えがあると思っておられる母、お子さんによって成長は異なるので子どもさんの様子を見ながらといくつか具体的なポイント、ふれあい遊びの具体的なアドバイス。 ● ずりばいやうつぶせからの動きについての相談。動き方、バリエーションの増やし方などアドバイス。 ● 4月から幼稚園。公園でも友だちと一緒に遊ぶ姿も見られてすごくこの1年で成長したと母。縁側を忍者のように歩いたり驚かせようとしたりと人との関わりにバリエーションが増えている。大成長!!

「赤ちゃんと遊ぼう」アンケート内容①

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
20代以下	とても満足	近い月齢の人と話したり、しっかり遊んだりできた。先生の話が聞けた。	あった	子どもの成長について。(ものを投げる、友だちとのやりとり)	少しの段差でも遊びになるんだなと思った。	
30代	とても満足	不安に思っていたこと、話が聞けたのでよかった。	あった	マットなどでいろいろな遊びをしようと思う。		
30代	とても満足	いろいろなおもちゃなどがあり、よく遊んでくれた。	あった	離乳食も音もかすかでいいこと。		
30代	とても満足	落ち着いた畳の部屋で木の温もりもあって、ママも癒された。自由に遊べてハイハイもできてよかった。先生にも気軽に質問できて嬉しかった。	あった	不安に感じていたこと(子どもの成長について)どれも普通の成長過程であるとわかった。バンボを使って食事をさせていたが、よく動いて困っていた。それは姿勢が悪くなっているのも原因だとわかった。	子どもと遊ぶときは、まねっこしてあげるといい。多動は脳のしわが増えている。成長しているということだよ。	
30代	とても満足	勉強になった	あった	同じ月齢のママさんと課題を共有できた。		今年も参加させてもらい嬉しく思う。
30代	とても満足	素敵な建物の中でたくさんおもちゃで遊べて満足そうだった。	あった	ずりばいのやり方、ライアー、初めて知った。お兄ちゃんにプレゼントしようと思う。離乳食は焦らないでいいと思えたこともよかった。ついつい上の子のときと比べてしまっていた。	一回言っただけでは伝わらないということ。繰り返し伝えることが大人の役割だという言葉も心に残った。上の子に対して怒ることが多いので…。	
30代	とても満足	いろいろなことを教えていただきありがたかった。離乳食のこともわかってよかった。	あった	離乳食の味のこと。音のこと。	妖精の子、ライアー(432ヘルツ)、離乳食の味の濃さ。	
40代	とても満足	不安に思っていることを共有でき、ほかのお母さんや引野さん、スタッフの方とお話しできてよかった。	あった	ミルクの量が多いので離乳食などで少しずつ変えていけれたらと思った。	遊び➡ものを投げたりする時期。その時期ならではの遊びがある。	
20代以下	満足	育児の悩みを専門家の方にアドバイスいただけて心強かった。	あった		2歳は多動!まだまだ心にゆとりができた。	
20代以下	満足		あった	子どもの好きそうな遊びを一緒に探してくださった。	子どもの感覚について。非常に些細な刺激でも大丈夫ということ。	
20代以下	とても満足	先生のお話も聞けてたくさんのおもちゃで遊ぶことができた。	あった	同じ地域に住む方にいい小児科を教えてもらった。大きなおもちゃで遊べた。	「口に含んだものを出す」も成長の工程なのだと知った。	
20代以下	とても満足	毎回、悩んでいることが確実に解決できるので助けられている。	あった	同じ月齢の子とふれあったり、話を聞いたりすることができた。	赤ちゃんも意思表示している。	
20代以下	とても満足	悩みを共有したり遊んだりできた。	あった	ご飯を口から出したり、わざとこぼしたりするのも大切だということ。	TVの刺激が大きいこと。小さいうちは刺激が大きすぎないように気をつける。	
20代以下	とても満足	作業療法士の方と話ができた。	あった	遊び方について。同じ月齢のママと話ができた。	テレビの見せ方について。	また参加したい。
30代	とても満足	いろいろ質問に答えていただいて嬉しかった。とても参考になった。	あった	子どもとの関わり方に悩んだり、行き詰ったり…どうしたらいいかわからないことが多かったが、講師、スタッフのアドバイスやお母さん方と話ができて、気持ちが軽くなった。今後、関わり方が、子どもにとってよりいいものになると嬉しいなと思った。	「ダメ」という否定的なことを言わない。ものの取り合いや、けんかをする場面でもお母さんは味方だという気持ちを持たせてあげる。	
30代	とても満足	細かい悩みを相談できた。	わからない	スマートフォンを見せるのはやめようと思った。	口周りの困り事=体の発達。	いかしの舎での開催が増えたらいいなと思う。
30代	とても満足	発達の気になるところをじっくり見てもらえた。	あった	私の心が軽くなった。		
40代	とても満足	音の子どもの感じ方、テレビやスマホで音楽を聴いているが、音量について気をつけていきたい。	あった	口からの吐き出し。➡怒るのではなく。		
40代	とても満足	家だけの環境ではなく、子ども自身もほかのお子さんと関われ嬉しい。	あった	月齢の同じ子どもの遊びや発達が見れ、参考になった。自分の子どもだけ見ていると疑問や不安が出てくるので。		また参加したい。

「赤ちゃんと遊ぼう」アンケート内容②

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
40代	とても満足	ほかの赤ちゃんとたくさんふれあえた。	あった	自分の子どもだけがおかしいのではないということ。	子どもは「今」を生きている。	また来ます。
30代	満足	近い月齢のお母さんとお話しできたのと上の子のことを相談できたのがよかった。	あった	上の子への関わり方のヒントをもらった。	「ほめる」だけでなく「価値を認める」ということ。	
30代	満足	気になることを丁寧に教えてくださった。	あった	おもちゃをただ買い与えるのではなく、母とのふれあいの中でも遊びは広がる。	子どもの目線に合わせて遊んでみるのもいい。遊び方に正解はなく、子どもの興味に合わせて遊び方を変えてみる。	
20代以下	とても満足	今回3回目の参加だが、回数を重ねるうちに子どもの成長が見られたり、知り合うお母さん方も増え楽しい。	あった	しっかりお腹を空かせ、汗もかかせることが大切と聞いて、過保護にしなくていいなと気持ちが楽になった。		
20代以下	とても満足	同じ月齢の子、それより上の子の話が聞けた。リフレッシュできた。	あった	マスクで名札を作っていたのでまねしたい。発達の様子が見られて安心した。		
20代以下	とても満足	悩みを聞いてもらったり、情報交換をしたりできるから。	あった	ものを投げる動きの難しさや遊びの中でそれを学んでいくこと。	ものじゃなくても関わり合いも遊び。	
20代以下	とても満足	専門家や同じくらいの月齢のお母さんと話ができた。	あった	たくさん子どもが動けてよかった。保育士さんが見てくれて少し子どもと離れてよかった。	おもちゃについて。	また参加させていただきます。
30代	とても満足	雰囲気がよかった。	あった	素敵なおもちゃがたくさんあった。家の床の環境について聞けた。	おもちゃを買わなくても、クッションや布団で段差をつけることで遊びになるということ。	是非また話を聞きたい。グループにちょっとずつ回ってくれたけど、もっとしっかり話したい。
30代	とても満足	ほとんどの疑問が解消されたので。毎日家にいると遊びもマンネリ化してくるので、今日教えていただいたおもちゃを購入したり、2人で遊んだりしようと思う。	あった	今の月齢だけでなく、もう少し大きくなっても使えるおもちゃを教えてもらったので早速購入したい。	今～1歳まではしっかり体を動かすことが一番大事と言われたので、おもちゃで遊ぶだけでなく、一緒に遊ぼうと思った。	
30代	とても満足	作業療法士の先生に遊び方を教えていただいたこと。	あった	おもちゃを紹介していただいたこと。		
40代	とても満足	引野先生にいろいろ相談ができた。ふれあい遊びも楽しかった。	あった	接し方、遊び方を教えてもらった。		もっと回数を増やしてほしい。
30代	満足	月齢が近いお友だちと遊ぶことができた。	あった	遊ばせ方。	暑いなら暑い、寒いなら寒い生活をする。	
30代	満足	プール後のシャワーは必要ないことの確認ができた。ボール投げの意味があることを知った。	あった	食事についての悩みはみんなあることを知った。	そういう時期の発達だから。	
30代	満足	同じ年齢の子と悩みを共有できてよかった。	あった	子どもが欲していないときはありのままの姿を受け入れて生活しようと思った。		
20代以下	とても満足		あった	歯磨きのこと、家での遊びのことが聞けてよかった。		
30代	とても満足	どんなことも遊びにつながるということ、子ども目線で見て一緒に楽しんであげることがいいんだなと幅が広がった。	あった	ゆとりを持って子どもに接することができそうな気がする。	カゴをひっくり返すだけでも子どもにとってはすごい能力。子どもと目を合わせてあげる。	
40代	とても満足		あった	家での遊び方が発見があってよかった。		発達を促す遊びが知りたい。
40代	とても満足	子どもがしっかり遊べて、ほかのお子さんと一緒に遊べた。	あった	子どもの新たな好きな遊びを発見できる。		
40代	とても満足	いろいろ話が聞けてよかった。	あった	遊び方や接し方など教えてもらえてよかった。		また来月参加したい。
20代以下	満足	情報交換ができた	あった	歯磨きをほかの人がどんな風にしているか。		

「赤ちゃんと遊ぼう」アンケート内容③

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
30代	満足	遊び方を教えてもらえてすぐに家で試せそうだったからよかった。	あった	おもちゃでないものを与えていいんだと思ったから。	何でも子どもにとってはおもちゃになる。	
30代	満足	月齢ごとでわかれて、ママさんたちと話ができてよかった。	あった	作業療法士の先生から「遊び」を教えていただいた。	かまってあげることだけが遊びではない。	
20代以下	とても満足	OTさんの話が聞けた。畳の空間でゆったりしていた。過ごしやすかった。	あった	同じ月齢のお母さんと話ができた。		
20代以下	とても満足	情報交換ができた。	あった	抱っこの仕方。ベビー用品のレンタル。	手や口を使っていろいろなことを確かめる大切さ。	
20代以下	とても満足	ほかのお母さんとたくさん情報交換できた。(同じくらいの月齢)	あった	離乳食やパーテーションのこと。		また次回も参加したい。
20代以下	とても満足	少し月齢の高いママさんと話ができてよかった。自由に遊べる環境があるのがいい。	あった	離乳食の相談までできてよかった。		また引き続き参加したい。
20代以下	とても満足	さまざまな月齢のママさんと話ができてよかった。	わからない		抱っこのコツ。仕方を知れて嬉しかった。	
30代	とても満足	遊びに悩んでいたので、先輩ママからアドバイスがいただけてよかった。	あった			
30代	とても満足	家での遊び方、ほかのママさんたちの遊び方も聞けてとても参考になった。	あった	今までしていたふれあい遊びや抱っこでゆらゆらだけでも赤ちゃんにとっていい遊びになっているということ。		
30代	とても満足	同じくらいの月齢のお母さんたちと情報共有できる。ちょうどいい人数。	あった	ベビー用品のレンタルの話。子どもの姿勢について。		
30代	とても満足	悩みを共有できてアドバイスをもらえた。	あった	ずりばいの様子を見てもらって、今度どんな体の使い方をしたらいいか教えてもらった。		
30代	とても満足	作業療法士さんに聞いたり、保育士さんの話をよく聞いたりできた。	あった	抱っこの仕方。おもちゃの選び方。不安なこと。(ごはん、遊び方)	抱っこは体に添わせること。赤ちゃんの足がMになること。	
40代	とても満足	うつぶせを嫌い対策を教えていただいた。	あった	おもちゃの概念にこだわらずにいたらいいことがわかってよかった。		引野先生の子どもの発達の講演が聞きたい。(託児つきで)
40代	とても満足	ほかのお母さんや先生方の意見が聞けてよかった。	あった	離乳食の話や危険対策が聞けた。		
40代	とても満足	先生の話やママさんから話を共有できてよかった。	あった	離乳食の話をグループでできてよかった。		
20代以下	とても満足	ほかの月齢のママさんと話ができた。	あった	聞きたいことが聞けてよかった。		
20代以下	とても満足		わからない			
30代	とても満足	寝返りについて相談できたから。	あった			ありがとうございました。来月もよろしくお願いします。
30代	とても満足		あった	月齢の近いママさんたちと家での遊び方について話せた。		
30代	とても満足	個別に話ができてありがたい。	あった	先生から話を聞いたり、近い月齢の方と話ができてよかった。		
30代	とても満足	同じ月齢の人と悩みを共有できた。	あった	体の使い方(手やひざなど)を教えていただいた。		
30代	とても満足	同じ月齢の何気ない疑問や悩みを話せてすっきりした。成長の個人差について聞けて安心した。	あった	今必要な動きをしているということ。		また来月も来たい。

「赤ちゃんと遊ぼう」アンケート内容④

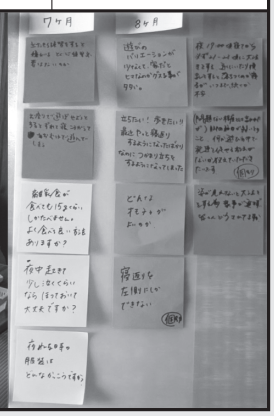
年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
40代	とても満足	同じ月齢の方と話して悩みを相談できた。	あった	何度か参加しているうちに子どもの人見知りが少しなくなり、一人で周りの子や先生と遊ぶようになった。		
20代以下	満足		わからない			
20代以下	満足		あった	公園での遊ばせ方、子どもの遊びの定義についておもちゃや遊具で遊ぶだけではないということがわかった。		ほかのお子さんと少し月齢が違ったので、1歳からの日もあるといいなと思った。
40代	とても満足		あった	絵本に限らずリズミカルな言葉かけを取り入れようと思う。今日も子どもの発達について見ていただきありがとうございました。		子どもの興味の観察や傾聴について話を聞きたい。
20代以下	とても満足	気になっていたことが聞けた。	あった	ハイハイができるようになった。階段が上れるようになった。	曲がりにくい方の足をマッサージするといい。	
30代	とても満足	ボブルスの使い方などを知れてよかった。	あった	いろいろな体を使った遊びができた。日常でも遊べそうなアイディアをたくさんいただいたのでよかった。		
30代	とても満足	個別に話ができるのが嬉しい。	あった	遊びについて知ることができてよかった。		
30代	とても満足	家にないおもちゃ(ドーナツやワニ、ゾウなど)で遊べて、遊び方もたくさん教わることができた。	あった	具体的な遊び方、体の動かし方をたくさん教わった。		
30代	とても満足	いろいろな道具を使って遊べた。	あった	毎日の遊びがマンネリしていたので、新しい遊び方を知れた。		
30代	とても満足	いろいろな種類の遊具があって楽しそうに遊んでいたのでよかった。	あった			
40代	とても満足	いろいろな先生と話ができふれあってもらえてよかった。	あった		「頭の中の地図」という言葉がわかりやすかった。	
30代	満足	遊びについていろいろ知ることができたから。家ではないおもちゃやブロックで遊ぶことができたから。	あった	どんな感じで遊んだらいいかわかった。	足でもしっかり遊んでいることが知れた。	
40代	満足		あった			みなさんの質問、先生のお答えをもっとみんなで共有できたらよかったように思う。
30代	とても満足		あった	家事も子どもの遊びの一つになるということ。洗濯するときにやってみようと思った。		
30代	とても満足	月齢が同じくらいの方とたくさんお話できた。引野さんにも役に立つ話を教えていただけてよかった。	あった	手遊び。引野さんの話。	乾布摩擦。	
30代	とても満足	月齢の近いママたちとたくさん話せた。家にないおもちゃにも興味津々だった。	あった	冬場のエアコンの使い方。寝るときに部屋を暖め過ぎない。		
30代	とても満足	発達をテーマにした話を聞けて、ほかの方の工夫やアイディアを知ることができた。	あった	手遊びうたのレパートリーが増えた。		
30代	とても満足	心の発達について教えてもらえた。	あった	急に機嫌が悪いことが増えたので気になっていて、成長している証だと知ることができた。		
30代	とても満足	近い月齢のお子さんがいるお母さんたちと話ができて、日常の過ごし方のアイディアをもらえた。	あった	子どもの好きな遊びを見つけてあげられるように、いろいろな手遊びやおもちゃを試そうと思った。	子どもと一緒に。	
30代	とても満足	気になることが話せた。ほかのお母さんたちと話せた。(コミュニケーションがとれた)	あった	体の動かし方。暖の取り方など。	汗腺は2歳まで。	

「赤ちゃんと遊ぼう」アンケート内容⑤

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
40代	とても満足	昨日から少しだけ変化があった。	あった	ハイハイが将来どんな動きにつながるかわかった。		発達について講演が聞きたい。
40代	とても満足		わからない	生活環境をどのような方法で整えているのか参考になった。安全対策や服装など参考にしたい。		
30代	満足	遊びがわかった。聞きたいことが聞けた。	あった	知りたかったことがわかった。	家の中では薄着でもいい。	
30代	満足	同じくらいの月齢の方と話ができて、遊びや離乳食のことを知ることができた。	あった	汗腺は2歳までに発達すること。遊びやおもちゃについて知ることができた。		
40代	満足	手遊びやうた遊びをもっと教えてほしかった。	あった	同月齢の方の悩みを共有できてよかった。		
40代	満足	いろいろ話が聞けてよかった。	あった	夜泣きや離乳食の話についてみんなの話が聞けた。		
20代以下	とても満足	聞きたいことを聞けた。	あった			
30代	とても満足	遊びのことは直接教えていただかないとわからないことがあるのでとても勉強になった。	あった	「ふれあうことやマッサージでも体を動かしたのと同じ効果がある」体を動かす遊びをしなければ!!…と思い込んでいたので楽になった。		
30代	とても満足	スタッフさんがいろいろ教えてくれたことが「なるほど!」と思えることが多かった。	あった	骨盤や足を意識してさわってマッサージしてあげる。		
30代	とても満足	体の動かし方、さわり方の違いも遊びになるということ。	あった	人見知りも個性ということ。		
30代	とても満足	眠りや離乳食についてほかのママさんたちと話ができた。	あった			
30代	とても満足	同月齢の子の話を聞き参考になった。	あった	おもちゃの使い方など、子どもとどう関わればいいか。	似たようなおもちゃでも子どもにとってはすごい違いがあること。	
30代	とても満足	同じくらいの月齢のママと話ができてよかった。	あった	ふれあい遊びをもっと増やそうと思った。さわる強さを変えたり、足の指一つ一つさわったり。		
30代	満足	同じ月齢のお母さんたちとのおしゃべり。手遊び。	あった	離乳食。硬め(大人と同じ)がいい子がいてうちも試してみようと思った。	遊びについて。	
30代	満足	遊びのこと、おもちゃのことが聞けた。ほかの方の家事の仕方が聞けた。	あった	←同じ。		
40代	満足		あった	歯ブラシのことなど、気になっていたことを聞けた。		
40代	満足	空調がいいといいな。少し寒かった。	あった	手遊びうたを家でもやってみようと思った。		
40代	満足	遊びについて学べた。	あった		同じ遊びのように見えても少し変化をつけていくだけでも違う遊びになるということ。	
40代	満足	手遊び、口遊びについて教えてもらえた。	あった	←同じ。		
30代	とても満足	子どもの発達とやったらいいこと、その理由がわかってよかった。ほかの月齢の赤ちゃんもいて、引野さんの話を聞きながら納得できた。	あった	発達に合わせた関わり方が知れて家での遊び時間の参考になった。	赤ちゃんが何をしたがっているか感じて一緒に。	
30代	とても満足	新しいお友だちと遊べたり、引野先生にいろいろなアドバイスをいただけたのでよかった。	あった	うつぶせの練習方法やバランスボールを使った遊び方など。		

「赤ちゃんと遊ぼう」アンケート内容⑥

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
30代	とても満足	いかしの舎は落ち着くのかたくさん遊べてお昼寝もした。	あった	引野さんが丁寧に様子を見てアドバイスしてくださるのでよく話が自分に落ちてきた。	できないことを訴えてくるのでちょっとつき合い過ぎてたなと過程を大事に待ってみる。	人気がよくて予約が取りにくくなってきましたね。
40代	とても満足		あった	保育園へ入ってからの不安が和らいだ。		
30代	満足	同月齢の子が多かった。使ったことがないおもちゃ、遊具がたくさんあった。	あった	同月齢の子がいるママと話ができた。		
30代	満足	月齢に合わせた遊びがわかってよかった。	あった	育児書やネットの情報にとらわれ過ぎない育児ができそう。	子どもの動きをサポートしていく姿勢は参考になった。	
40代	満足		あった	同じ月齢の子どもたちの様子がわかった。自分だけが困っているわけじゃないとわかり安心した。トンネルの中をハイハイで通り抜けることができ、怖がらずできる子なんだとわかった。		
40代	満足	同じ月齢の方とお話して情報を共有することができてよかった。	あった		「待ってみる」という心の余裕。	
40代	満足	子どもがしっかり遊べたので。また、たくさんの人と関われたから。特に子どもが。	あった	前回より保育士さんやいろいろな方と遊べるようになった。		
30代	やや不満足	もう少しいろいろ聞きたい!個人的に。	あった	専門的なお話が聞けてすごく勉強になった!!	結果より過程、プロセスが大事。見守ること!	
40代	やや不満足	機嫌が悪くなって終始泣いていたので。	あった			
20代以下	とても満足	和室でのんびりした時間を過ごせた。ほかのママさんや先生方と話すことができてよかった。	あった			
20代以下	とても満足		わからない		遊びについて。	
20代以下	とても満足	赤ちゃんとのふれあいなどたくさん知れたのでよかった。	あった	いろいろな月齢の子を見れて学べた。		
30代	とても満足	ずりばいで前に進まなかったので、アドバイスいただけてよかった。	あった	ずりばいで前に進ませるのに、足で踏み出すように補助してあげる。		
40代	とても満足		わからない		保育園は生ワクチン。	
30代	満足	引野さんに聞きたいことが聞けたので。いつもありがとうございます。	あった	ずりばいの後の動き教えてもらえた。		コロナの影響下でも開催してくださってありがたかった。みんなでするプログラムが少ないと寂しい。
40代	満足	人数が少なかったけど、先生とゆっくりお話ができてアドバイスをいただけてよかった。	あった	今どんなことを積極的に行えばいいのかわかったのでよかった。		



アラ40ママのひろば

赤ちゃんの成長発達に大切な母乳やミルクの与え方と離乳食との関係、赤ちゃんのいる暮らし方など、助産師の村口先生による目からウロコのお話。みんなで体を動かし、さまざまな月齢の子たちと遊ばせたり、ママたちとお話ししたり。保育士さんやスタッフのサポートもあって安心。プレママも歓迎です。

■ 狙いと対象者について

0－3歳児を養育中の40代のママ、プレママを対象に、高齢出産、他地域からの転入などで孤独な子育てをしている母親を支え、こどものことだけでなく自分自身のことも話せる場として居場所の設定した。
対象者の多くは社会経験も豊富で、自分自身を冷静に見る目があり、たくさんの幅広い月例の赤ちゃんに触れ、同じように悩む同世代の母親の存在に勇気づけられ、自立した存在として自分の中にその意味を取り込んで生かしていける賢さが感じられた。最初は表情硬く参加していた人が、生活の中で続けていける子育てのヒントを持ち帰り実践し、自然に自信を積み重ねて表情が和らいでいく様子を見ることは支援者として喜びであった。ママぱれっとの事業としては早島で7回、地域子育て支援拠点の地域支援事業として倉敷で12回実施した。

■ 時　　間　10時～12時（要申込）
■ ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　助産師・保健師・看護師　村口裕美さん
■ 開 催 日　①6/13 ②8/21 ③10/3 ④11/6 ⑤12/4 ⑥1/24 ⑦3/26
■ 対　　象　40歳前後のママと0-3歳児・プレママ可・定員12組程度

「アラ40ママのひろば」アンケート内容①

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
30代	とても満足	子育てしてる方はみんな似た悩みを持っていることを知ってなんだかホッとした。子どもも自由に遊ぶことができてよかった。	あった		3ヵ月。その時々に悩みがある。	
40代	とても満足	同年代のお母さん方と話すのは参考にもなりリフレッシュできた。	あった			
40代	とても満足		あった	同年齢との悩みや不安なことが一緒であったり、自分自身の悩み「ミルク量が多いこと」を相談することができ、やってみようと思った。なかなか相談できる場がなかったので不安に思うばかりだった。	みなさんとお話しできたことで、これからの子育て頑張ろうと思えた。	一人で悩んでも前に進めないことが多いけど、この場があることが助かる。ありがとうございます。
40代	とても満足	同じ世代の方と話ができるのが楽しい。	あった			
40代	とても満足	楽しかった。	あった	悩みが楽になった。	子どもの成長はあっという間だということ。	
40代	満足	同年代のママと話ができて楽しかった。	あった	みんなの悩みや思いを共有できてよかった。		
30代	とても満足	食事についての悩みがだいぶ和らいだことと気分転換になった。	あった		必ず成長していく！後退しない。	
30代	とても満足	悩んでいることを相談できて、どのように対応していけばいいかわかったのでよかった。	あった	とても興味を持ったおもちゃがあったので家でも購入して遊ばせようと思う。		大型の遊具があったのでよかった。普段遊べないようなものもあって楽しめた。
30代	とても満足	いろいろな赤ちゃんとふれあえ、それぞれ個性や特徴が違うんだと肌で感じた。アラフォーママともいろいろ話ができて不安が軽減した。	あった	今の過ごし方、これから赤ちゃんに起こる変化と対峙法について知ることができた！	お母さんの「楽しい」を赤ちゃんは吸収する。自然を身体で感じること。うたを教えれば子どもは安心する。	
30代	とても満足	いろいろな話が聞けて、おもちゃもたくさんあって子どもも楽しそうだった。遊んでいただいてありがとうございました。	あった	水遊びが大切だと知れたこと。		
40代	とても満足	アラフォーではいつも同じ悩みだったり、落ち着いた雰囲気で、子どももだが私も癒される。	あった	個人的には先生に相談していたミルク、哺乳瓶の離れ方や時期を教えていただきやってみようと思った。	夏はプールや自然で遊ぶチャンス。子どもと一緒に楽しみたい。	
30代	満足	もう少し交流や話をする時間があったらよかった。	あった	いろいろな子の動きが見れて、いろいろなタイプがいるのだなと感じた。	「お母さんが楽しいと思うことを見せてあげる」つい子どもが楽しいことを思いがちだが、自分が楽しむことが大事なんだなと思った。	
30代	満足	知らなかったことをたくさん学べた。	あった	うたうことは大事なのだなと思った。	お母さんが楽しいと思うことを見せてあげる。	
40代	満足	同年代の悩みなどもっと聞いてみたかった。	あった	先生や参加者の方から話が聞けた。		
40代	とても満足	子育てで不安な気持ちを吐き出せた。歳の近いママと話せた。	あった	離乳食の進め方のアドバイスをもらえた。	高齢になると親も高齢で頼れないよね…と共感した。	
30代	とても満足	同じ悩みを持つ方々と話ができたこと。	あった	離乳食を始めるために必要な準備を勉強できた。	妊娠期から今につながっていることがたくさんあったこと。	
40代	とても満足	村口先生の話がとてもよかった。また、みなさん頑張って子育てに向き合っている様子を聞けて自分も頑張ろうと思えた。	あった	← 同じ。	妊娠8ヵ月のときに聴覚、味覚が育つ。離乳食につながるんだ。	
30代	満足	同年代のお母さんばかりで落ち着いて話せた。	あった		1日に1回後ろから抱きしめる。前から「おいで」では子どもに負担がかかる。	
30代	とても満足	娘が自由にいろいろな子と遊んでいて嬉しそうだった。	あった	同年代のママさんと交流ができてよかった。	うたをうたうといい。一緒に遊ぶ方法を聞けてよかった。	

「アラ40ママのひろば」アンケート内容②

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
30代	満足	ゆったりした雰囲気でよかった。	あった	少し月齢の大きな子とのふれあいによって学びがあるのかなあと感じた。		もっと開催回数を増やしてほしい。
30代	とても満足	日々、子どもと2人いる中で、これでいいのか悩んだりしていたこと（離乳食など）が解消できた。	あった	自分が行っていたことが認めてもらえてよかった。		
40代	とても満足	村口先生の話は毎回ためになる。あっという間の時間だった。	あった		顎を下げる！	
30代	満足		あった	夜泣きのこと。（頭を使わせるのがいい!?）		初めてなので緊張したけど、みなさんやさしくてよかった。
30代	とても満足	昨日と違っていろいろな年齢の子どもがいて、ふれあい、交流の場になった。発達と遊びのアドバイスをいただけて早速取り入れてみようと思った。	あった	ほかのお母さん方の意見や特技、工夫のアイディアなどを聞けて参考になった。		
40代	とても満足	少人数でみなさんの話もいろいろ聞けたし、村口先生の話もいつもとてもいい。	あった	少しずつ家事をする話はまねしてやってみようと思った。		
40代	とても満足	先生がとても丁寧にいろいろな話をしてくださった。	あった		私たちの世代は何とかしようと努力できるし、何とかしていく力があるとおっしゃっていただけたこと。	
40代	とても満足	身近な発達課題がわかってよかった。	あった	うつぶせができるときが少しずつ増えた。		
30代	満足	いかしの舎はリラックスできる。先生やスタッフの対応がいつも嬉しい。	あった	ほかのお母さんの2人育児のコツを聞けた。家事の仕方を聞けた。	家事はちょこちょこ。頑張り過ぎない。	
30代	とても満足	体をなでるスキンシップ。普段、取り入れやすい方法を教えてもらえてよかった。体調の変化をお尻で見るとか初めて知った。	あった	主人と一緒に息子をなでなでしようと思った。	もっと小さい頃からふれあいスキンシップをしてあげればよかったと思った。	
30代	とても満足	離乳食の悩みや生活環境の悩みを共有、アドバイスいただけた。	あった	マッサージの方法や体の使い方のアドバイス。	「成長に関しては赤ちゃん自身が答えを持っているので、よく観察することが必要。」お尻のマッサージ、お腹の調子との関係。	
30代	とても満足	今まで知らなかったことをいろいろ教えていただいた。	あった	まだ5ヵ月だけど、寝返りをさせるためのマッサージや手、足の動かせ方、肩甲骨を意識させることが新しい発見。		
40代	とても満足	いろいろなお話が聞けてよかった。	あった			
40代	満足		あった	体の動きや整え方などスキンシップと合わせてやってみたいと思った。		
30代	満足	たくさんのお母さんと先生と話ができて気分が晴れた。	あった	子どもがほかの子どもや大人と関わることができた。		午前中は外出が難しいこともあるので、今日は来ることができてよかった。
40代	満足	知らないことがたくさん聞けてよかった。	あった		マッサージが必要なこと。	
30代	とても満足	同じ悩み、解決方法を共有できた。	あった	寝返り返りするために腕を前にして遊ばせることによってできるようになる。		
30代	とても満足	同年代のママとお話しできる機会があまりないので、たくさんためになる話が聞けてよかった。	あった	実際に子育てをした方の経験談なので、すぐに生活に反映できる気づきがたくさんあった。	自己肯定感の強い子にしたい…という話の際に、どんな声かけをしようか悩んでいたら、「かわいいね」という言葉をかければいいと言われ心が軽くなった。	次年度もぜひ開催してほしい。
40代	とても満足	悩みや気持ちの共有ができてよかった。	あった	年代を受け入れて、いい意見で手を抜いて力を抜いてもいいんだと思った。		

子リスのひろば

どうしてお友だちと仲良くできないのかな。
どうしてこの子だけ、こんなふうなの。
もっと理解してあげたいのだけど…。
そんな時、少し見方を変えると、お子さんの行動の理由もわかって楽になるかも。
かかわり方のヒントを一緒に考えていきましょう。

■ 狙いと対象者について

育てづらさを感じる2−3歳を持つ保護者の支援を目的に、個別に話す時間を取りつつ、共有できる話題提供も行った。大きなお子さんが多く、体を動かす遊びなどはみんなで一緒に楽しんだ。
言葉が出づらい、どこがとは言えないがなんだかおかしい、相談機関で指摘されたことが気になりノイローゼ気味であるといった悩みから、既に療育や病院に通院しているケースまで多岐にわたった。継続して来ている親子も増え、就園に向けての相談や育休明けの仕事復帰をにらみながら支援機関とどうつながっていくかなど、具体的に自分たちにできることを問われることが増えてきた。医療と福祉の隙間で不安な気持ちで子育てしている保護者の行き場は依然として少なく、これからも、必要な相談援助の場所であると強く感じた。

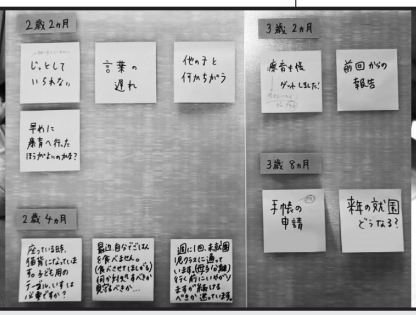
■ 時　　間　10時～12時（要申込）
■ ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　作業療法士　引野里絵さん
■ 開 催 日　①5/21 ②6/11 ③7/23 ④9/10 ⑤10/1 ⑥11/8 ⑦1/21 ⑧2/26
■ 対　　象　2-3歳児と保護者・定員10組程度

「子リスのひろば」アンケート内容①

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
30代	とても満足	ひっきーとお話しできて、気持ちが前向きになれた。	あった	月に1-2回、個別で指導を受けてみたらどうかと言ってもらい、一緒にどのようなところがあるか調べてみようと言っていただき嬉しかった。そういうところがあれば行ってみたい。		
30代	とても満足	マットやブロックなど、体を動かせるおもちゃがある。スタッフのみなさんがいつもやさしく一緒に遊んでくれたり声をかけてくれる。ひっきーのお話が聞ける。	あった	毎回来るたびに、子どもの様子が違う(成長が見られる)。私自身みんなとお話しできてリフレッシュできたし、いろいろやる気が出た。保育士の勉強しようかな。		いつも気にかけ見てくださってやさしく接してくださってありがとうございます。
40代	とても満足	引野さんのアドバイスが毎回的確で今回も食事に関する悩みが相談できた。おもちゃが充実していて子どもが楽しんでいた。スタッフの方がよく子どもに関わってくれて楽しそうだった。	あった	人見知りでお友だちのいるところを嫌がっていた時期があったが、アドバイスを参考に私の膝の上でしばらく落ち着かせて本人のタイミングを見ていたら、徐々にお友だちに興味がわいて今は自分から言うようになった。	2歳半で立ち歩きやじっとしていないことに悩んでいた。今は脳が発達しているときで、それは全く普通のことという話(特に脳の話)が心に残った。	
40代	とても満足	先生が話をしっかり聞いてくれる。	あった	以前先生から話を聞いて、やれることはやろう!!と思うようになった。	親の私をほめてくれた。	
20代以下	とても満足	いろんな話が聞けた。勉強になった。子どもも楽しく遊べた。遊んでくれてありがとうございます。	あった	子は毎回、マットやブロックで楽しく遊ばせてもらっている。いろんな遊び方できるのでいい。母は、不安に思ってたことを相談してスッキリした。	心と身体は繋がっている。私もストレッチしようと思った。	
40代	とても満足	先生とゆっくり話ができた。	あった	すぐに療育へ行かないといけないのかと思っていたので、少し心の余裕ができた。	発達段階かも。療育のような教室もある。	またこのような講座を続けてほしい。
30代	とても満足	ひっきーさんとお話しできたので。	あった	療育を始めようと思っているところだが、気持ちが前向きになれた。	「いい出会いがありましたね」療育をしたい施設で、言語聴覚士さんと会えたと報告したとき言ってもらえた。	
40代	とても満足	先生とゆっくり話ができた。	あった			ありがとうございました。
30代	とても満足	個別に相談できて、たいへんためになるお話をしていただいたので。	あった	先生の対応を見て、そうすればいいのかと勉強になった。		
30代	とても満足	しっかり話を聞いてもらえた。	あった	ジュースをアイスにする。お箸の仕組み。	息子が「いい目」と言ってもらえてよかった。いつもはすぐに帰りたいと言うのに楽しく遊んでいた。	
40代	満足	いかしの舎の畳の施設。引野先生の相談に対するアドバイスがとても参考になる。子ども自身が楽しんでいる。おもちゃが充実している。保育士の竹内先生がしっかり見てくださる。	あった	私の心が軽くなった。今日から参考にしたいことばかりだった。	お箸は3歳から。エジソン箸はあまり使わなくていい。	
40代	満足		あった			この講座を続けてほしい。
40代	とても満足	心配していたことが聞けて話すと安心できた。	あった	私の性格的に心配性なので、先生にお話を聞けて安心できた。		
30代	とても満足	子どもの個性を見ながらアドバイスをいただけること。	あった	前回、食事について1人で食べないことを相談したが、アドバイスをいただいた通り対応していたら食べるようになり、とても楽になった。		
40代	とても満足	みなさんが声をかけてくれ、子どもの成長を喜んでくれた。	あった	就園のことを悩んでいたので、ちょっと前向きになれた。	成長しているよ!	ありがとうございました。
40代	とても満足	人数も少なく、たくさん遊べた。	あった	ほかの友だちと楽しそうにできた。		
30代	満足	専門家の先生方のお話を聞けていつも参考になっている。	あった			

「子リスのひろば」アンケート内容②

年代	満足度	理由	有無	具体的な内容	心に残ったキーワードやエピソード	意見・提案・要望
30代	とても満足		あった	話を聞いてもらえて気持ちが楽になった。		
30代	満足	いつもいろいろ参考にさせていただいている。	あった	おまるを使っておしっこを頑張っている。ご飯を食べる食器を替えて食べることに取り組んでいる。	本人の様子(意志)に合わせて、お友だちとのおもちゃの貸し借りに挑戦してみる。	今日はトーマスが大人気だったのでまたぜひ持って来てください。
40代	満足		あった	うさぎカフェ、利き手、歯医者、トイレトレーニングについて。		
40代	満足		あった		いろいろいいところを取り入れていってくださいとアドバイスをいただいた。	これからもよろしくお願いします。
30代	とても満足	ひっきーさんと話せたこと。広い場所で体を動かして遊べていたこと。	あった	お箸:エジソンからトング型になる補助箸へ移行するのに、気をつけた方がいいことを教えてもらった。		楽しい場を提供してくださってありがとうございます!
40代	とても満足	子どもが笑顔で遊んでいる姿が嬉しかった。私の気がつかない点など指摘していただき勉強になった。明日からも頑張れそう!次も楽しみ!ほかのお母さんと話せたのも嬉しかった。	あった	遊び方が広がった。ほかのお友だちと楽しそうにしていた。	子どもがキャッキャッとはしゃいでいる姿。	ありがたい場という一言。いつもありがとうございます。
40代	とても満足	ひっきーがいろいろと話を聞いてくれた。	あった		親の癒しも必要。(リフレッシュ)。親子の療育を半年間頑張ったね!!と。	ありがとうございました。
30代	とても満足	ほかの子とも交流でき、悩みも相談できた。	あった	幼稚園に行きたがらないときの対応が知れてよかった。		
30代	とても満足	ゆっくり話を聞いてもらえ、アドバイスをいただけた。	あった	興味のあること(人、場所)をしっかりやらせてあげることが大切ということ。	「いい表情してる」と言ってもらえたこと。	いろいろ心配事はあるが、相談できて少し気が楽になった。
40代	とても満足	引野さんがたくさんおもしろい遊び方を子どもに教えてくれ、そのほかのスタッフの方々にもたくさん教えていただきとても楽しそうに過ごせたため。子どもの性格に合ったアドバイスをいつもいただけてたいへん参考になっているため。	あった	初めに来た頃は人見知りで固まっていたが、今ではのびのびと生き生きと過ごせるようになり日常生活でも少しずつ同様の変化が見られている。		引野さんをはじめ、みなさんに会えるのをいつもとても楽しみにしているようです。私もとても温かい時間を感謝しています。
40代	満足	久々に参加できてよかった。	あった		母に負担がないことも大切!!	
30代	とても満足	具体的にどういう動きをすれば効果的かわかった。	あった	靴のサイズを見直そうと思った。	最後のワンポイント。完成形より上ろうというプロセスを大事に。	
30代	とても満足	普段の生活と照らし合わせて話をしてくれた。具体的な内容を話したので、アドバイスをそのまま生活に取り入れられそうなのでやってみようと思う。	あった	声のトーンは一定で対応してあげる。	結果ではなく、経過を味わえるように持って行く。	
30代	とても満足	子どもにあった体の使い方を教えてくれた。	あった	苦手だったトンネルをくぐることができた。	失敗したとしても過程が大切。	
30代	とても満足	聞きたいことへの回答が得られた。日々のポイントとして活用できる。	あった	よく転ぶ(こける)ことが多かったが「靴」の指摘により改善できた。	遊びの幅が広がってきた。とても落ち着いて遊べている。環境へ感謝します。	毎月楽しみにしている。



ふうの実ひろば

親子で部屋に閉じこもっていると煮詰まっちゃう。いつもと少し違う雰囲気で、お話したり、遊んだり…。小さな悩みでも大きな悩みでも、日々の子育てのあれこれを話しに来ませんか？12〜13時は一緒にランチもOK！ いつ来ても、いつ帰ってもOK！

■ 狙いと対象者について

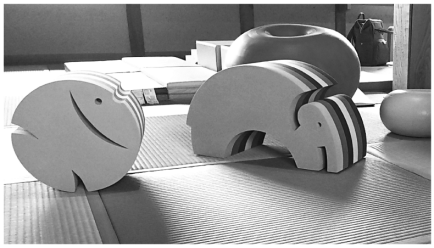
0−3歳のこどもと保護者、プレママを対象とした、毎回午後のノンプログラムのひろば。定員は設定せずに予約なく自由に参加できるように配慮した。12〜13時は支援者、利用者も一緒のランチタイム。午前中と同じ専門職が常駐し、さらにざっくばらんな雰囲気で語り合う。子育てのロールモデルのいる小さなコミュニティとしての場を目指した。

■ 時　間　12時〜15時

■ 参加方法　申込不要（いつ来ても、いつ帰ってもOK）

■ 開催日　5/21・22・23　6/11・12・13・14　7/23・24・25　8/20・21・22　9/10・11・12　10/1・2・3・4
11/6・7・8・9　12/3・4・5　1/21・22・23・24　2/26・27・28　3/24・25・26

■ 対　象　0-3歳児と保護者・プレママも可



チラシ

事業全体のシンボルとなるロゴマークやチラシのデザインは「人目に付きやすく」「多様な親子が木陰で一休みする居場所」というイメージで依頼。

ヨーロッパモダンな和風テイストは、会場となった早島の「いかしの舎」のイメージにもあったものとなりました。

期間中、チラシを2回作成し、倉敷市、岡山市、早島町の公民館、児童館、保健所、地域子育て支援拠点に配布したほか、Facebook、Blog を使った情報発信を行いました。

（表）

（裏 1）

（裏 2）

WAM助成事業 B　支援者向けネットワーク会議

「生後2カ月からの発達支援」チラシ

2019年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

生後2カ月からの発達支援

乳幼児のからだの変化をみつめて

2020年
3月2日(月)
10:30〜16:00

①10:30〜12:00 身体調和で体を整える
②13:00〜16:00 生後2カ月からの発達支援

座っていられない、落ち着いて聴いていない、コミュニケーションが取りにくいなど、小学生になるころ顕在化する「こどもの困り感」。その遠因は乳児期の運動や脳の発達に関係すると言われています。
町内の生後２カ月のこどもたち全員が、無料で、月4回延べ32回のサポートを受ける群馬県吾妻郡長野原町の事例のほか、こどもたちが置かれている現状と、最新のさまざまなアプローチについてお話を聞きます。

会 場　岡山国際交流センター 7階多目的ホール
〒700-0026 岡山市北区奉還町2丁目2番1号
周辺の有料駐車場をご利用ください。

参加費　①1,000円 ②2,000円　当日お支払いください。

対 象　子育て支援に係る専門職、支援員、行政職員など
専門職向けの講座ですが、一般の方もご参加いただけます。

定 員　40員名程度。午前中は実際に体を整えるワークをします。
午前中のみ0歳児と一般の保護者の参加を受け付けます。
希望者は電話080-2900-8110までお問い合わせください。

申 込　先着順、定員まで。チラシ裏面の申込書か、以下のQRコードよりお申込みください。

QRコードがうまく読み取れない場合はアドレスバーに直接「https://bit.ly/2NPVvYY」を入力してください。

講師 **町村 純子** さん

株式会社ゆう地域支援事業代表取締役、有限会社まちむら 役員。資格は保健師・看護師・養護教諭２種など。1983年群馬県大間々町役場勤務。2003年地域保健研究会所属。同年ゆう地域支援事業開設立を経て、2006年有限会社まちむら設立。指定介護訪問ステーション・指定居宅介護支援事業所・住居型有料老人ホーム「たなぼ」・障害児童通所支援 児童発達支援「一期」を開設。2018年には群馬県長野原町に相談支援事業所「ゆう・ながのはら」、障害児童通所支援 児童発達支援「一会」を開設し、同年6月には群馬県長野原町委託事業 乳児発達支援「子育て広場きらきら・ベビー（長野原町在住の生後2カ月〜12カ月児全員に月4回）を開設した。著書「ベビーマッサージ 身体調和体操にトライ」「身体調和支援 うたにあわせてマッサージ」など。

後 援　岡山県教育委員会、倉敷市、岡山市、早島町
主 催　一般社団法人チカク（担当）赤木(080-2900-8110)

（表）

申し込みフォーム　ファクス 050-3488-4116

- 受講申し込みは先着順です。定員に達した時点で締め切ります。
- 都合で参加できない場合は、すみやかにご連絡ください。
- 赤ちゃんを同伴の方には、折り返しメールでご連絡いたします。連絡がなかった場合は受付ができていませんので、電話で確認をお願いします。

一般社団法人チカク(赤木)　☎080-2900-8110　✉ekinotikaku@gmail.com

それでは、以下にお答えください。

講座名、講座日をご確認ください

生後２カ月からの発達支援 〜乳幼児の身体の変化をみつめて〜
2020年3月2日(月) [会場]岡山国際交流センター 7階多目的ホール(岡山市北区奉還町2-2-1)

☐ 確認しました

ご希望の時間帯は？(複数回答可)

☐ 10:30〜12:00 身体調和で体を整える ※午前中のみ0歳児と一般の保護者の参加可能(若干名)
☐ 13:00〜16:00 生後2カ月からの発達支援

参加者の情報をお知らせください

① 参加者氏名	フリガナ
② 子育て支援にかかわる資格／職種	☐ あり　☐ なし
③ ②であるとお答えの方、該当する職種にチェックしてください。※複数回答可	☐ 保育士　☐ 看護師　☐ 助産師　☐ 保健師　☐ 作業療法士　☐ 理学療法士　☐ 言語聴覚士　☐ 小学校教員　☐ 行政職員　☐ その他(　　)
④ ekinotikaku@gmail.com から受信できるメールアドレス	@
⑤ 携帯番号	ー　　ー
⑥ お住まいの郵便番号	〒　　ー

お子さんを同伴されますか？(いずれか一つお選びください)

☐ 同伴しない　☐ 同伴しない(　　月出産予定)　☐ 同伴する

上で同伴すると答えた方、お子さんの生年月日と性別を教えてください

2019年　　月　　日生まれ　☐ 男　☐ 女

※生後２カ月〜11 カ月ぐらいの赤ちゃんに限りますので、上のお子さんを連れて参加できません。

連絡事項

（裏）

「支援者研修とネットワーク会議」チラシ

ママぱれっと（０歳児の発達支援に特化した地域拠点事業）

支援者研修とネットワーク会議

2020年3月3日(火)10:00〜16:30

会　場 ｜大原本邸 語らい座　ブックカフェ（倉敷市中央１丁目 2-1）
対　象 ｜保育・子育て支援および保護者支援に係る専門職、行政関係者など定員 20 名程度
参加費 ｜4000 円　※申込み方法は裏面をご覧ください。

どの子もその子らしく、自分なりに満足できる。
そんな毎日が暮らせるように。支援者ができることを考えます。

<1時限目>　10:00〜
すべての０歳児の通過点に
ママぱれっとの目指すこと
一般社団法人チカク 代表理事、保育士
赤木美子

<2時限目>　11:00〜
赤ちゃんを産み育てるということ
出産・子育ての現状と未来
ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 所長、助産師
村口裕美

<3時限目>　13:30〜
生き方の正中線を育む
北欧視察のキーワード
Rie Child Support 代表、作業療法士
引野里絵

<4時限目>　14:25〜
専門職連携を推進する立場から
子どもの身体の変化を見つめて
㈱ゆう地域支援事業園 代表取締役、保健師
町村純子

<5時限目>　ネットワーク会議（講師・参加者の意見交換）15:20〜
すべての赤ちゃんにしあわせなこども時代を！
今日、ここからはじまる新しい子育て支援の物語。
つながりながら、それぞれの場所でその時できる最善のこと。

後　援　岡山県教育委員会、倉敷市、岡山市、早島町
主　催　一般社団法人チカク　担当｜赤木（080-2900-8110）
共　催　公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま

2019 年度 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

（表）

ママぱれっと（0 歳児の発達支援に特化した地域拠点事業）

支援者研修とネットワーク会議

日　時｜ 2020 年 3 月 3 日(火)　開場 9:30〜
10:00〜10:55 オリエンテーション 〜 すべての０歳児の通過点に（赤木美子）
11:00〜11:45 赤ちゃんを産み育てるということ（村口裕美）
13:30〜14:15 生き方の正中線を育む（引野里絵）
14:25〜15:10 専門職連携を推進する立場から（町村純子）
15:20〜16:30 ネットワーク会議（講師・参加者の意見交換）、アンケートなど
会　場｜ 大原本邸 語らい座（倉敷市中央１丁目 2-1）
対象者｜ 保育・子育て支援、保護者支援に係る専門職、行政関係者など　定員 20 名程度 先着順
申　込｜ ekinotikaku@gmail.com あてに、メールの件名を【3/3 ネットワーク会議】と明記して、
①お名前とよみがな、②職種 or 所属、③活動する市町村名、④携帯電話番号をお知らせください。
折り返し、受講の可否について返信します。定員になり次第締め切り。
※ 参加費 4000 円は当日お支払いください。欠席の場合はご連絡ください。ekinotikaku@gmail.com から受信できるように必ず設定してください。いただいた個人情報は、研修のご案内にのみ使用します

登壇者プロフィール

村口裕美 さん
ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 所長、助産師・保健師・看護師。
故 山西みな子先生に師事しながら約15年間宮崎県で母乳育児相談所を、その後10年間助産院と改名し「産」を扱う。2013年より岡山県へ移住。看護専門学校「母性看護学」非常勤講師、水島中央病院小児科・福山市イトーヨーカ堂・倉敷市の赤ちゃん訪問などで育児相談を担当する中、出産・育児に苦労する母子の様子を見てドイツの助産師のように妊娠中から出産・育児までのあいだ母子を支える「かかりつけ助産師」の必要性を強く感じ2016年4月「ぐらん・ま」を開設した。
身体調和支援体操アドバイザーB級認定、UAマスタートレーナー認定、テルミー療術師。第23回母子保健奨励賞受賞。

引野里絵 さん
Rie Child Support 代表、作業療法士。
重症心身障害児施設、コスタリカ共和国国立脳性まひ養護学校、県立広島大学保健福祉学部作業療法学科助教、出雲市民リハビリテーション病院子ども発達相談室室長、放課後等デイサービス児童発達支援管理責任者、日本感覚統合学会インストラクターを経て、2016年リエ・チャイルドサポートを開設。子どもの「出来ないことに注目しすぎず、家庭や保育所・学校等、暮らしの現場で、子どもの「出来ることを活かし」「実行しやすい環境や仕組みを作り」「子どもの理解者を増やし」「子どもの育つ力を引き出す」サポートを行う。
出雲市教育委員会：出雲市特別支援教育推進委員会　委員。

町村純子 さん
株式会社ゆう地域支援事業園 代表取締役、有限会社まちむら 役員。保健師・看護師・養護教諭２種など。 2003年ゆう地域支援事業園設立を経て、2006年有限会社まちむら設立。指定介護訪問ステーション・指定居宅介護支援事業所・住居型有料老人ホーム「たなぼ」・障害児童通所支援 児童発達支援「一期」を開設。2018年には群馬県長野原町に相談支援事業所「ゆう・ながのはら」、障害児童通所支援 児童発達支援「一会」を開設し、同年6月には群馬県長野原町委託事業 乳児発達支援「子育て広場きらきら・ベビー（長野原町在住の生後2カ月〜12カ月児全員に月4回）を開設した。著書「ベビーマッサージ 身体調和体操にトライ」「身体調和支援 うたにあわせてマッサージ」など。

赤木美子（主催/企画）　一般社団法人チカク 代表理事。倉敷駅前にあった倉敷チボリ公園の公益性の一部（地縁・血縁から程よく離れたコミュニティとしての存在と事業）を継承するために、閉園直前の2008年12月26日にチボリで働く女性スタッフ数人と一般社団法人チカクを設立。2011年「ようちえんごっこプチぱれっと（経産省コミュニティビジネスノウハウ移転事業」、「子ども防災ネットワークおかやま（企業・ＮＰＯとの協働）」、2012年「ちゃやっこひろば・チカク（倉敷市委託）」「倉敷まちづくりひと展（倉敷市委託）」、2018年「０歳児の発達支援に特化した地域拠点事業（WAM助成）」など、少子高齢化、高齢ハイリスク出産、孤老・孤食・孤育て、運動機能障害（ロコモティブシンドローム）が引き起こす発達障害様のこどもの困り感の改善、乳幼児への防災教育など、社会の課題を照らし、勉強する機会を作りながら、当事者あるいは当事者の伴走者として身近な課題に取り組んでいる。保育士、産業カウンセラー、一般社団法人高梁川流域学校 理事、倉敷市教育委員会 社会教育委員会 委員。チカクのこと http://www.ekinotikaku.com/outline/1087

ママぱれっと（０歳児の発達支援に特化した地域拠点事業）とは
独立行政法人福祉医療機構（WAM）社会福祉振興助成 モデル事業（2018 年度）および通常事業（2019 年度）として助成を受け、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、３歳児以下、特に０歳児の発達課題を丁寧にみる「親子の居場所づくり」を行う事業です。０歳児の心と体の発達に「視点」が持てるよう、専門職と地域の支援者がさまざまな側面からともに学び、親子に寄り添いながら生活圏でネットワークを形成するため事業を行いました。
報告書は「ママぱれっとについて」で検索していただくか、以下のサイトからダウンロードできます。
http://www.mamapalette.kokage.cc/aboutus/

2019 年度 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

（裏）

Webミーティング

接続試験・リハーサル 3月14日・23日・26日
会議実施 3月28日 9:30~12:30

このWebミーティングは、コロナウイルス感染防止のために実施できなかった３月３日の「支援者研修とネットワーク会議」の代わりに行うもので、主催である赤木美子（岡山）、スピーカーである村口裕美さん（岡山）、引野里絵さん（島根）、町村純子さん（群馬）の順に、20分～30分ずつ、会議の主題に沿って話し、その後、参加者との意見交換を行った。

30分の待機室から2時間半のZOOMミーティングにつなぎ、参加は出入り自由だが守秘義務遵守で、ビデオで顔出し、お名前・地域・職種の開示とした。募集はFacebookのみ。

参加者：24人
岡山、広島、島根、徳島、京都、群馬、神奈川、千葉、北海道より

参加者の属性として保育士、保健師、助産師、作業療法士、歯科衛生士、小児科医、そのほか子育て支援にかかわる人

村口裕美

ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所所長、助産師・保健師・看護師。

故 山西みなこ先生に師事しながら約15年間宮崎県で母乳育児相談所を、その後10年間助産院と改名し「産」を扱う。2013年より岡山県へ移住。看護専門学校「母性看護学」非常勤講師、水島中央病院小児科・福山市イトーヨーカ堂・倉敷市の赤ちゃん訪問などで育児相談を担当する中、出産・育児に苦労する母子の様子を見てドイツの助産師のように妊娠中から出産・育児までのあいだ母子を支える「かかりつけ助産師」の必要性を強く感じ2016年4月「ぐらん・ま」を開設した。
身体調和支援体操アドバイザーB級認定、UAマスタートレーナー認定、テルミー療術師。第23回母子保健奨励賞受賞。

引野里絵

Rie Child Support 代表、作業療法士。

重症心身障害児施設、コスタリカ共和国国立脳性まひ養護学校、県立広島大学保健福祉学部作業療法学科助教、出雲市民リハビリテーション病院子ども発達相談室室長、放課後等デイサービス児童発達支援管理責任者、日本感覚統合学会インストラクターを経て、2016年リエ・チャイルドサポートを開設。子どもの「出来ないことに注目しすぎず」、家庭や保育所・学校等、暮らしの現場で、子どもの「出来ることを活かし」「実行しやすい環境や仕組みを作り」「子どもの理解者を増やし」「子どもの育つ力を引き出す」サポートを行う。
出雲市教育委員会：出雲市特別支援教育推進委員会 委員。

町村純子

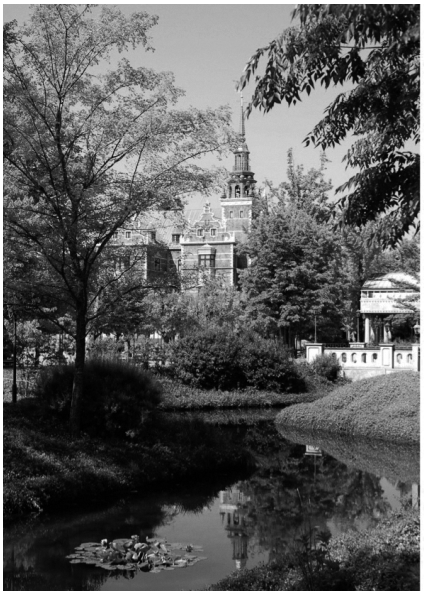
株式会社ゆう地域支援事業團代表取締役、有限会社まちむら 役員。保健師・看護師・養護教諭2種など。

2003年ゆう地域支援事業團設立を経て、2006年有限会社まちむら設立。指定介護訪問ステーション・指定居宅介護支援事業所・住居型有料老人ホーム「たなぼ」・障害児童通所支援 児童発達支援「一期」を開設。2018年には群馬県長野原町に相談支援事業所「ゆう・ながのはら」、障害児童通所支援 児童発達支援「一会」を開設し、同年8月には群馬県長野原町委託事業 乳児発達支援「子育て広場きらきら・ベビー（長野原町在住の生後2か月～12か月児全員に月4回）を開設した。著書「ベビーマッサージ身体調和体操にトライ」「身体調和支援 うたにあわせてマッサージ」など。

赤木美子（主催/企画）

一般社団法人チカク 代表理事。

倉敷駅前にあった倉敷チボリ公園の公益性の一部（地縁・血縁から程よく離れたコミュニティとしての存在と事業）を継承するために、閉園直前の2008年12月26日にチボリで働く女性スタッフ数人と一般社団法人チカクを設立。2011年「ようちえんごっこプチぱれっと（経産省コミュニティビジネスノウハウ移転事業」、「子ども防災ネットワークおかやま（企業・NPOとの協働）」、2012年「ちゃやっこひろば・チカク（倉敷市委託）」「倉敷まちづくりびと展（倉敷市委託）」、2018年「0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業（WAM助成）」など、少子高齢化、高齢ハイリスク出産、孤老・孤食・弧育て、運動機能障害（ロコモティブシンドローム）が引き起こす発達障害様のこどもの困り感の改善、乳幼児への防災教育など、社会の課題を照らし、勉強する機会を作りながら、当事者あるいは当事者の伴走者として身近な課題に取り組んでいる。保育士、産業カウンセラー、一般社団法人高梁川流域学校 理事、倉敷市教育委員会 社会教育委員会 委員。



1 すべての０歳児の通過点に　～ママぱれっとの目指すこと

一般社団法人チカク 代表理事、保育士
赤木 美子

私たち、一般社団法人チカクは倉敷チボリ公園のスタッフで立ち上げた子育て支援団体です。チボリはご覧のようにきれいな公園で、子育て世代向けのイベントやアトラクション、文化的な事業、ミュージカルなどがありました。こうしたチボリのソフト資産を引き継ぐために、閉園後、私たちは法人を設立しました。

ママぱれっとのきっかけ

最初に今につながる活動になったのが「ようちえんごっこプチぱれっと」という２歳から４歳のお子さんをお預かりする事業です。ここで私たちはとても良い保育士さんと出会い、子どもに適切に関わることがとても大事だなということを学びながら事業を進めてきました。

ですがここ3･4年ぐらい前から、口コミで集まったお子さんのなかにかなりの割合で、お母さんがとても困っているケースがみられるようになってきました。こういうお母さんたちは、どこかに相談先があるかというと実はなくて、多くが「様子を見ましょう」と言われて困ったままであるという状況も見えてきました。

さらにうちで受け入れるのは数に限りがあって、ある年、すでに療育に通われているお子さんをお断りして、いざふたを開けてみたら、もっと保育がむずかしいお子さんがいました。早期に支援につながることができる家庭とそうではない家庭があるんですね。ああこれはもう私たちだけではだめだということで、もっと専門的な目線で見ることができる人とつながり、そういう現場で支援者としてもスキルを上げていかなくては…と、はじめたのが「0 歳児の発達支援に特化した地域拠点事業～ママぱれっと」です。

早島の古民家で月に3～４日のペースで、午前中は専門職・保育士と具体的な悩みについて話したり、月齢の異なるたくさんの赤ちゃんを目にすることができる4つのプログラム「アラ40ママのひろば」「0 歳さんの日」「赤ちゃんと遊ぼう」「子リスのひろば」。

午後はおなじ専門職がいるのですが、もっとフリーな歓談の場であるノンプログラムの「ふうの実ひろば」として、開催しました。

悩みを共有し気付きを促す

午前中のプログラムに参加するママたちは、悩みを三つ、四角い付箋に書き出します。それを月齢ごとに並べて張り出し、自分の悩みだけでなく、ほかのママたちの悩みを目にすることになります。

みんな同じなんだ…。もう少ししたら、こうなるんだな…。

アンケートにはこんな言葉が並び、子育てに見通しをもっていかれる様子がわかります。

プログラムによって、いろいろな悩みがあるわけで、参加者の同質性によって、悩みが共有しやすくなっているという側面もあると思います。

今の状態は、医療（疾病）や福祉（障がい）につながらない親子が、出産して医療から離れると気軽に相談できる場がない。気軽に自然に子育てに触れる場はもちろん、専門的な知見や子育てのベテランの知恵に触れる機会が地域にない。

この問題がどうして社会でもっと取り上げられないかというのがすごく私は疑問で、やっぱり母子保健の範囲で話していてはいけないんじゃないかという思いがあって、企業の経営者向けに作ったのが右のPPTの内容です。

0歳から始まっている

小学生になって授業中に立ち歩く子どもたちのこととか、支援級の多さとか言われていますが、その問題は小学校に入ってから始まるわけでも幼稚園に入ってから始まるわけでもなくて、0歳から始まっているんですね。経営者向けに話した内容なので人としてのスタートアップである0歳児に対して社会は無関心でいいんですか?という投げかけをしました。

便利になって体が変わってるといわれています。これが進化といっていいのか退化していくっていう進化なのか、少なくとも子どもたちはどんどん不器用になっていって、使わないところが衰えているように見える。もっともっと体を使って心と脳を育てるようにしなきゃいけない。

もう一つは、これは私自身が門外漢であるから実感するんですけど、子どもを育てるっていうこと、今のお母さんたちは見てないんですね。子どもを身近にみることなくて子育てするって相当難しいんじゃないかなと。

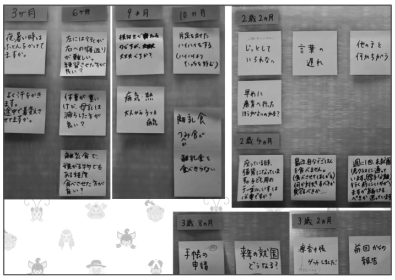
そうすると出産が医療の側に入って出産してしまうと医療は終わりで、じゃあその赤ちゃんとの暮らしっていうもののイメージができないまま放り出されてしまう0歳児を抱えているお母さんは、どういう状況なんだろうかということを考えてほしいのです。

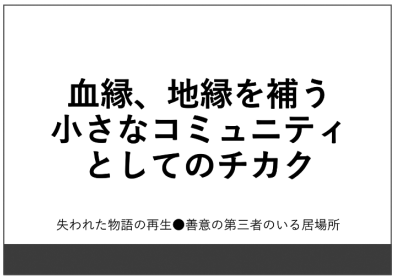
これは思ったよりすごく大変なことで、でも0歳ってあっという間に終わってしまって、喉元過ぎるとその問題って次の課題に上書きされてしまって、だから取り上げられずにいつまでも水面下のままで問題が先送りされているのではないでしょうか。

誕生して人になるまでの間

ママぱれっとの取り組みは、地域子育て支援拠点と、出産医療となってしまった「誕生」との間をつないで、もっと子どもを産んで育てることが楽しいと思えるような環境にすることを目指して、これからも続けていきたいと考えています。

ヒトとして誕生して一番大切な最初の一年。それが0歳児です。商品・サービスを送り出した最初の一年目にする労力と資金を、なぜ人に対して投入しないんですかという話を経営者の集まりにしたときに、終わった後にワーッと人が集まってきたことがありました。母子保健の問題をもっと社会に伝えていくために、伝え方とすべての0歳児につながる仕組みを考えていかなくてはいけないと思っています。





2 赤ちゃんを産み育てるということ〜出産･子育ての現状と未来

ぐらん･ま 倉敷自然育児相談所 所長
助産師 **村口 裕美**

私の与えられたものが「赤ちゃんを産み育てるということ」という、とても壮大なテーマでしたが、助産師という立場で見てきましたのでその部分でのお話とさせていただこうかなと思っております。

赤ちゃんは誰もがお父さんの有能な精子とお母さんの成熟した卵子、この二つの力を借りて世界にたった一つの存在として宿命的なものをもって生まれ、お母さんのおなかの中で生活しています。

生活様式の変化とかかわり方

生活様式は助産師の私から見るとここ30年くらいの間に非常に変わりました。生活が変わると体の動きやものの考え方も変わるわけで、赤ちゃんもお腹の中にいて、その変化を全身で感じながら成長していくわけです。

セロトニンと言う幸せホルモンの活性化のために妊娠中からお母さんたちにお願いをすることがあります。戸外での散歩と早寝早起きの習慣化。旬のものをいただくこと、ここは祖母や実母の食の影響がありますのでとても大きなそして難しい課題だと思っています。

最近のお母さんは、お外に出て日光を浴びましょうねと言っても日光を浴びるという感覚がわからない。しっかりよく噛んでとお伝えしても「あ、噛んでます」といいう形で、じゃあどんなものを具体的にどんな時間で噛んでいますか?と言ってもなかなか返ってこない。意識していないのですね。

腹式呼吸を意識しましょうね、しっかりと赤ちゃんに意識を向けて、といいますがこの腹式呼吸もなかなか思うようにできないのも目にします。

食事の質、これはいうまでもないので、旬のものをその土地でできるものからということでお話ししています。

これらは私の所属する助産師会からもメッセージされていることでもありますが、生活に根ざすところでもありますので「赤ちゃんにとっての健全な生活」として短期目標で伝えながら習慣化を目指してもらっております。

できるだけそばに寄り添い生活に沿った形でお話ししていく。妊娠は、正常な生活、健全な女性の「生活」ですので、その人自身の問題の中に私たちの職が入っていくというのは非常に難しい部分がありますが、自分に自信を持って出産と育児に備える体と心と環境を提案し寄り添い続けることも助産師の役割と考えています。

幸せな出産の環境を整える

出産の生理を司るのは多くのホルモンの働きですので健全なホルモンバランスが妊娠の継続に必要なのです。先に述べましたように私たち助産師は妊娠中から健全な母親の環境作りのお手伝いをしています。

出産はその結果とも言えるかもしれませんが、それでも人は「陣痛」と向き合う時、自分を失いがちになります。

出産時の役割ホルモンにオキシトシン、エンドルフィン、カテコラミン(アドレナリン)があります。オキシトシン分泌を促すために助産師は母親の身体と心の動きを観察しながら環境に配慮し不安を取り除くための看護を行います。そしてエンドルフィン分泌の最高値「ランナーズハイ」の経験が出来るよう注意深く看護するのです。なぜなら、そこを経験した出産後の女性の喜びはとても大きいとわかっているからです。

一方不安が大きく、痛みに敏感な女性の場合アドレナリンが生産されるのです。お母さんの気持ちは喜びの出産から離れてしまい、その中で生まれてくる赤ちゃんも酸素欠乏などになることもあるのです。私たち助産師は出産する女性がパニックにならないようにあらゆるケアを行いながら赤ちゃんのために必要な環境を整えていくのです。

ですから、助産師は、いかに妊娠中からの生活習慣や寄り添い方を充実させる必要性を出産とその直後の1週間で観察

することができます。ここが最も大切な鬱予防・虐待予防と捉えても過言ではないと思っています。

私たちは吸啜という行動のリズムをしっかり専門的にみます。吸啜行動というのは生まれてすぐの行動ですが、赤ちゃんが疲れ切っているとなかなかうまい具合に行動を整えてくれませんので、いつ整えるかなと見ていきます。

吸啜のこの3つのアムアムアムという行動は、非常に速いスピードでリズミカルに下顎があまり下がらない動きをするわけですね。

そのあとにちょっと待ちます。待つ理由っていうのはアムアムアムという刺激でお母さんのお乳の内圧が高くなってお乳が温かくなる。それを唇で感じる、感じた時に待てる赤ちゃんだといいのですが、なかなか待てないんですね。で、待ってという時にお母さんの体の中からおっぱいが出てくる、射乳現象といいますね。その待っての時と、あ、出てきたという感覚が同時にあって次にゴックンゴックンいう下顎の深いダイナミックな動きで舌を固定させておっぱいを飲む、もう、あのゴクンという、嚥下音が聞こえる、ここを観察するというのが一番の目的ですが、なかなかうまい具合に確認できない赤ちゃんが増えてきているというのが残念です。

そういう赤ちゃんの能力を28日目までの間に触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚という形でみていきます。すべて相互作用ですので母の状況を踏まえてみていく必要があります。お母さんと赤ちゃんというのは常に触れる、撫でる、握る、目と目を合わす、声をかける、抱く、そういう一連の母の行動で赤ちゃんに伝わっていきます。

そしてまた、赤ちゃんのほうからも泣く、そしてぬくもり、におい、そしてあごの発達、唾液の分泌、お口の状況等々でお母さんの体が反応するわけですね。そういう行き来する中で大きく気付いてほしいところがスキンシップ＝触る、触覚ということを、最初にお母さんに伝えています。

応答的であるということ

応答的であるということは、受け答えということをしないといけないわけですが、お母さんは赤ちゃんに尋ねないのですね。ネットで情報を尋ねているから。もうちょっと赤ちゃんのほうを見てねとお話をするのですが、なかなか難しいのでこれはもう実践をするしかない。モデルとして実践してみせて、そして実際にやらせてみて私たちは観察していくという形をとっていきます。

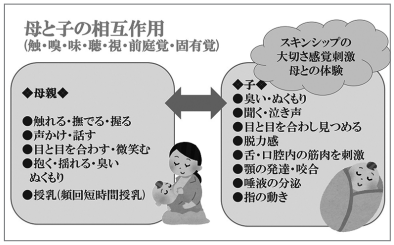
赤ちゃんは親を安心して頼れることを感覚として認めた時、目元が緩むし上肢＝手足が少し表情的に動きますね。これは誰もが分かることですので、言葉でお母さんに伝えるとお母さんには理解しやすいようです。

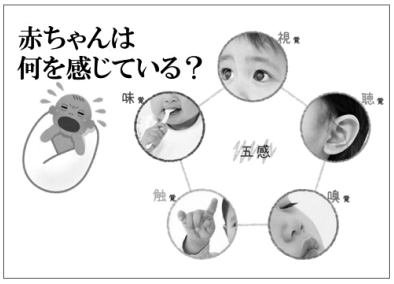
また赤ちゃん自身もそういう柔らかいしぐさがあったときに「お母さんって呼んでるんじゃないかしらね」という言葉で伝えると、ああそうなんだねってはじめて気づく。それは結果的に赤ちゃんが自信を持ち、今後の相互の関係で心を交流させたり体を触れ合わせたりすることで、様々な乳児の育ちにつながっていくために大事なことなんですね。

言葉の獲得、これも非常に大きな問題になってきますが、赤ちゃんのしぐさをお母さんが見るようになると、次第に言葉も赤ちゃんに向かって発するような状況になるなとは感じています。

「赤ちゃんは何を見てる？」「お母さんは何を見てる?」「そばにいる大人や子どもたちは何を見てるかな？」…。これは常に疑問符で、私は投げかけるように努力しています。おまけに何を赤ちゃんが感じているのかなと。実際に五感で感じながら、これにプラス、前庭覚、固有覚という二つの感覚、七感で感じているという事もお母さんたちはご存じなので、じゃあ実際にどういうことを赤ちゃんはそしてお母さんはしているかなという事を突き詰めてお話をするようにしています。

母子手帳を見ながら妊娠中を振り返ることも積極的に行います。赤ちゃんに向かって「お母さんはね…お守り握り締めてあなたを産んだんだね。」「お母さんとへその緒で結ばれていたんだよね。」などと赤ちゃんにそのものを触らせながら、見せながら、お話をするようにしています。





赤ちゃんのサインを見逃さない

長年母乳育児相談をやる中で、母側へのアプローチが多かったように思いますが5年ほど前から赤ちゃん側に「吸啜しない・吸啜できない」ことが増え、母乳育児が軌道に乗れない主たる原因が赤ちゃん側にあるのではないかと感じるようになってきました。

大人たちの変容した生活の中で赤ちゃんの出しているサインを見落とさず「成長、発達を促すチャンス」として捉える時代に入ったと痛感しています。このチャンスが的を得たものになり得るようにするには何をすれば良いのかが課題ですね。

この神社の中を行き来しながら子どもたちは大きくなっていきます。もともとこのお宮さん、子宮というのもお宮ですね。子どものお宮と書きます。そういう意味でも常に私たち日本人はどこかにお礼を言いながら、そしてどこかに願いを馳せながら、赤ちゃんを育てていっているような気もします。

感覚統合は私の分野ではないのですが、私たちがやっていることはこの感覚の一番下の部分を特に1歳までの間しっかりとやらないといけないということです。ですからその上の大きく花開いていくまでの間には大きなテーマを持ちながらそれぞれの職種で連携しあい、そして紐解きながら線がゆっくり解かれていくというのが大事かなと思っております。

日本の育児文化というのが少しずつ途絶えそうになっていますので、私たち自身がそれぞれの着眼点を持って見ていかないといけない、というのが現代です。何を見たかというのが一番大事で、さらに見方の幅が広いほうがいいので多職種の意見を聞いていくのが、私は一番妥当だと思ってます。

そして自分が何をアドバイスできるかなというのを自分の持っているものでアドバイスしないといけないわけですから、そういうところに気持ちを入れています。

今私がやっている事は1対1のミクロの世界でのことです。さらに並行して、ママぱれっとで少しマクロ的な母子の世界を覗いています。ミクロを知り、マクロを覗き、母子の発達に関わる危機感は募るばかりです。

今後はもっと大きな集団を各職種と見ていかないといけないことに気づき始めています。

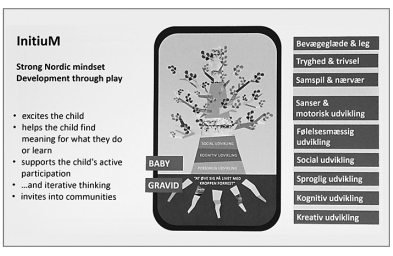
3 生き方の正中線を育む　～北欧視察のキーワード

Rie Child Support 代表、作業療法士
引野 里絵

昨年10月に北欧の視察に行ってまいりました。統合保育とか幼児教育を中心に見たいというリクエストをして、フィンランド、スウェーデン、デンマークをみて、感じたこと、学んだことを、【生き方の正中線を育む】というテーマで、お伝えできたらと思います。

幸せな時間を全ての子どもたちに

今回の視察のきっかけとなったデンマークのボブルス社のこの「ボブルスの木」、下が胎児期ですね。上にいくに従ってだんだん大きくなっていく。この胎児期にボブルスさんが大事にしているのは「お母さんと一緒に体を動かすことを楽しもう」ということで、おうちの中でも体が動かしやすく、楽しく体を動かす工夫をして、北欧らしいかわいらしい家具とか色使いをデザインの中に取り込んでいます。



非常に印象的だったのが、生まれて一番最初に大事にすることが、パーソナルの発達といわれたことでした。パーソナルの発達ってなんだろう?と私と赤木さんの中でクエスチョンで、どういうことですかって聞いたら自分自身を知ることだといわれました。自分自身を知るというのを生まれた瞬間からやっていくっていう、その視点自体が非常に目からウロコだったんですね。

例えばどういうことかというと、快、不快とかそういうとこから始まるということで、発達的に、そりゃそうだって思うのですけど、そこへ焦点を当ててどれだけその部分を大事にみていけるのかと考えていくのは、日本ではあまりない視点かな思いました。

そのあと認知の発達や社会性の発達につながっていて、なのでベースになるのは生まれる前から親子で動く楽しみを知っていくっていうことと、そして生まれた直後から自分自身を知っていく、自分の感情を中心に自分自身を知っていくことだというふうに言われていて、これが非常に印象的でした。

毎日自分の感情に焦点を当てる

感情という、自分自身を知っていくところで、一番やはり、快、不快がベースになるのですが、日本だと感情を表現するとちょっとネガティブな印象＝怒ったりすねたりとかそういう場面を私は想像しがちなのですが、でもそうではなくて、感情というのはもちろん良い・悪い、ハッピーもあって怒りもあるわけですよね。

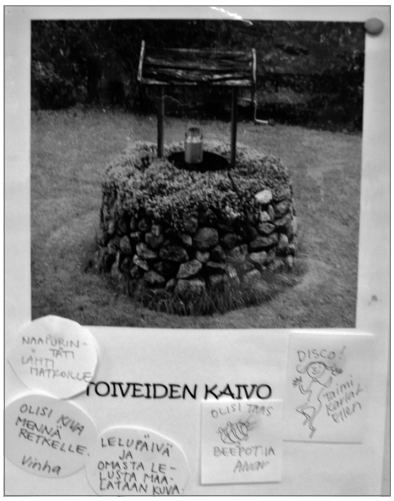
これはフィンランドの町中にあるマンションの1階にある保育園ですが、午前も午後も外で遊ぶ、雪が降っても雨が降っても、スキーウェアのようなツナギを着て外で遊ぶっていうのがプログラムとして必須になっているぐらい自然と触れ合いながら外で遊ぶことを大事にしておられました。

ここでは、壁に6個の顔の絵が描いてあるんですけど、上から「ハッピー・オッケー」「いい感じ」「びっくり」「不安」「悲しい」「怒ってる」という6個の感情を、3歳児くらいから、毎日の午前午後の外遊びの時間、部屋に帰った後に今の自分の気持ちを表現する時間を設けているそうなんです。外遊びでいろいろあるからね、と特別支援が専門の先生がおっしゃっていましたが、毎日、子どもたちの感情にフォーカスする時間を持っていることが新鮮な驚きでした。

君の願いはいつかきっと叶う

「ウィッシングウェル～願いの井戸」といって、井戸の写真の周りに付箋が貼ってあるコーナーがありました。例えば○○君がみんなと一緒ではなくブロック遊びがしたいと言うとき、この願いの井戸に付箋を貼る。そして、後からこの願いが叶うかもね、今はお出かけしようと連れ出して、別の場面で○○君はブロックしたかったよね。じゃあ今からしようか。願いがかなったね。というふうに本人の希望も否定しないで全体の動きの中に包み込んでいく。

日本でいう特別支援が必要なお子さんたちも多くいる保育所でしたが、別に特別支援が必要な子だけにそうするんじゃなくて、すべての子に対して、やりたいことを一旦引き受ける。引き受けるけどすぐには実現しないこともあって、また別の機会でやることもあるんだよ、ということになるとその子は我慢もするし、これを自分はしたいんだと表現していい。それを受け止めてもらえるという土壌が自然とできるんだなと思いました。



それから、日本だったら特別支援に使うような道具が、普通に無造作にポンと、使いたい人はどうぞみたいな感じで置いてある、例えば、イヤーマフもそうですね。日本だと聴覚過敏のお子さんが自分の物を持っていて使うような特別感があるんですけども、これもたくさん置いてあって使いたい人どうぞ、みたいな感じですね。横には、うるさいって感じている子がこれをすると少し楽になるかもよ、みたいな絵も描いてあったりして、自分で自由にどうぞ、という

ような感じなのです。

なので、例えば診断があるからとか、この子は配慮が必要だからこういうものを使う、とかではなく、そもそも特別支援とか関係なくて使いたい子は使う、必要な子は使っていく、それで良しとする。それが当たり前の世界、というのもとてもいいなあと思いました。

意図的に「リラックス」を演出

お昼寝タイムもあるんですけど、デンマークの保育園ではお昼寝するというより、ゴロゴロしてちょっとリラックスすることが大事だと教えるとおっしゃっていました。同じように、スウェーデンのファミリーセンターの授乳室では、授乳室がすごく素敵でライトが落としてあって、ちょっと薄暗い感じにして、お母さんがリラックスして授乳ができるように、そして子どもに集中できるようにという配慮のもとに環境も設定してあるんですね。

これは幼児教育というよりは母子のところで先ほど村口先生のお話しくださったお話と重なります。子どもにも大人にもリラックスが必要で、非常に大事。だから意図的に母子の関係を育むというところでも、授乳の場面をちょっとゆったりするような感じにこうまったりしたムーディーな雰囲気のところでした。

自己選択、自己決定が基本

これはフィンランドの保育園で、新学期のはじめに年長さんが何をこの一年間で目標にするかを掲示したものなんですが、7人くらいの子たち、なかには特別支援の配慮が要る子もいるみんなで話し合ったものなんだそうです。

一番思ったのは相互作用とか自己コントロールということにおいて、どんなことを自分たちはできるかを、子どもたちが既に意識して、じゃあ僕たちはこういうことをしていこうとか、こういうことを頑張らないといけないとかを話し合うんですね。プレスクールとなると日常生活の知識とか学習とか運動ってことに焦点が当たりそうなんですけども、それと同じくらい自己コントロールとか自己表現とか遊び活動の中で自分がどうしていきたいかということに焦点を当てて話し合わせているのが非常に新鮮でしたし、それぐらいの力を子どもたちは持っているんだなと感じました。

これはスウェーデンのプレスクールのロゴマークですが、今回の北欧視察の象徴的な要素がありました。遊びを大事にする、言葉や表現すること、算数、ハートマークは自分・あなたとか私たちとか個々であり全体でありそれを大事にすることを中心にすえて、自然とともに生きること、創造性、健康であること。体を動かした遊びをベースにした中でこういう要素が含まれる仕組みを環境設定や先生たちの関わりも含めて意図的になされているんですね。

楽しんで体を動かすとか、オンとオフを明確にしていくということ。

自分の感情に気づいて表現する、そしてどんな感情もOKでまずは受け止めてもらえる環境があり、そこから自己コントロールを学んでいくということ。個々の興味にフォーカスしてもらうので、無限の興味を引き出す環境づくり、これはやっぱり大人が意識してやっていくところかなと思いました。

こういうことを通して自分ということとあなた＝相手の存在は違うものでありそれでいいんだ、というところにたどり着くのではないかなと思います。

大人の世界観から変えていこう

もう一つは大人の世界観と子どもに求める教育内容が一致していて、日々の生活の中の大人の姿を見て学ぶので、リラックスすることや自然とともに生きることが大事であることを大人自身が示している。それがまちづくりのデザインにも反映されていて素晴らしいなと思ったところと、あと自分を大事にして自分を律することは、我慢

するということではなく、律するんですね、そして相手を尊重し協働することにつながり、そうであれば、日本人らしい和をもって尊しとなすというところにもつながっていくのではないかなあと思いました。

私たち大人自身も自分の軸っていうものを作っていく必要があるなあというふうに感じました。

4 専門職連携を推進する立場から　～子どもの身体の変化を見つめて

㈱ゆう地域支援事業團 代表取締役
保健師 **町村 純子**

私は、自治体の保健師として約20年、その後、独立し19年目となりました。多職種連携が必要だけどできないのがジレンマでして、それに今さいなまれているところです。予算を持っている自治体がリードをしてもらえると、もっともっといろいろなことができるかなと思っているのですが…。

地域の保健師として何ができるか

大間々町に就職したのは、昭和58年のことです。人口23,300人、出生年間350人くらいの町でした。保健師の学校では、まず地区把握、地区診断、地域計画、実施、評価と叩き込まれて卒業。でも、就職したらまったく通用しない。では、保健師が地域にいる目的は何かと考えました。乳幼児健診では、ドクターが『異常なし』だと、健診は異常なしと記載されます。自治体で乳幼児健診をする意味、自治体に保健師がいる意味は、何なのかと考える日々でした。

養護の先生がいない小学校に、救護として修学旅行、キャンプ、運動会と行きます。そうしますと、つまずきやすい、よく転ぶ、つま先歩き、同じ速度で歩けない、早食い、食べられないものがある、お箸がうまく使えないなど、気になるお子さんが目に留まりました。

当時は3歳児健診が最後でその後は、特別なお子さんだけ、経過を見ていました。小学校で気になるお子さんの状態を、乳幼児健診の状態を確認しますと、『よだれ』『食べ方』『歩き方』などで要指導となっていることに気づきました。

私は、自治体の乳幼児健診は医療面だけでなく、生きていく力への保障、それが保健師の役割ではないかと考え、医療診断とは別に生活していくうえで支障はないか、保健診断が必要ではないかと考え、ライフサイクルの中で、どんな関わりをしたらよいのか試行錯誤しながら活動しておりました。

大間々町では、新生児に保健師が全数訪問し、吸い方が弱いお子さんは、歯科衛生士さんと共同訪問。その後、3か月健診、6か月子育て教室、7か月健診、10か月相談、12か月相談、1歳半健診、3歳児健診。その他に、毎週の健康相談（乳幼児から高齢者まで）。そのスタッフは保健師、栄養士、歯科衛生士は毎週。助産師、精神科のドクターは、月1回。多職種でみて、それぞれの専門性で評価し、話し合っていました。

育てにくさは生きにくさに繋がる

最近のお子さんの気になることは、「横に抱きにくく、縦抱き」「体がそる」「母乳が飲めない」「自分の唾液でむせる」「げっぷが出ない」「向き癖がある」「うつ伏せが嫌い」「服の着せ替えがしにくい」「離乳食がうまく進まない」「一方しか寝がえりをしない」「ハイハイの形が気になる」。こうした気になる症状は、月齢が進むことで、形を変えていきます。経過観察や、様子を見ましょうとかいう事で済むことではないと思っています。

私は我が子が未熟児でどこに行っても「様子を見ましょう」「大丈夫」といわれましたが、不安が消えることはありませんでした。そんな経験がありますので、保健師として最初のころから、いつまでにどんな状態になる可能性があるというのを私自身の中に持たない限り、「様子を見ましょう」とは一切言わないようにしてきました。

保育の現場で保育士さんが最初に気づくのは「育てにくさ」だと思っています。その段階で子どもが変わる手立てがあり、先ほど村口先生が発達の木を示してくださった根っこの部分

で、この「育てにくさ」が改善されていけば、良い果実がなり、いい木として育ちます。育てにくさは、本人の生きにくさに関わる問題なのです。

子どもたちの体が変わっていく

今一番気になるのは新生児期、この段階で吸う反射、吸啜反射がない、ルーティング反射がない、把握反射、小指側の握りが弱いということ。保育の現場やお母さんたちの相談から、吸啜反射がないという子が急激に増えているのを感じます。

吸ってこない、舌が動かない、そういう口腔機能は、私たち保健師だけでなく、口腔のプロにしっかりと診てほしいと思います。

たとえば、毎月行っている保育園の0、1歳児クラスの新入園児、ここ数年、「この子はのどに物を詰まらせます」というような状況でお母さんが預けてくる。しかも食べているものはペースト、「固形物にすると詰まらせるので怖いからうちではやっていません」と言います。お母さんたちは、保育園でどうにかしてもらおう、中には、予定していた産休を短くし、復帰をするというような状況もあるようです。

妊娠前に、「子どもが欲しいと思える」その気持ちが育つ土壌であること。そして、生まれてくる子どもが人らしく育っていくために、母親が自信をもって子育てができるように、妊娠前からいろいろな職種の人がかかわっていく必要があると思います。

村口先生と話をしていて思うのが、助産師さん、昔でいうお産婆さんは、安心して妊娠、出産、産後を過ごせるように、生活の全てに関わっていた専門職だったと思うのです。今の時代、妊娠、出産、産後の健康管理、栄養管理、家事代行などお産婆さんがしていたことを、各種専門職でしていく必要があると思います。その中で、かかりつけ助産師が必要ではないかと考えます。

また、生まれてくる子どもの体の状態が変わってきている。それともう一つ、体づくりをしにくい環境に社会全体があると思います。

医療中心の健診、疾患や障がいの早期発見も大切です。しかし、生活力、生きる力など生活レベルでの能力のあり方を見て適切な関わりをすることも必要だと思います。

私は今、高齢者にも関わっていますが、介護保険で評価されるのは生きていく力、日常生活で、どれだけ人の手を借りて生活していくかで介護度が決まります。その力を「発達」の中で育てていくことが大切なのです。

長野原町の発達支援の事例から

長野原町での実験的な取り組みとして、子育て広場の委託を受けて一年ちょっと、この3月で事業は終了になりましたが、その事例からお話しします。

ここには毎週、利用料無料で、2か月から12か月の子とその親が通っています。「小学校に入って椅子に座って授業を受けられる」、「成人した時に可能な限りで自分らしく生きていける」、そこを目指した教室です。運動発達、口腔機能の発達、コミュニケーション能力・社会性の獲得などの発達を丁寧にみて、お母さんがお子さんの発達状態を理解し、子育てをしていける支援をします。

町の保健師さんとは、月1回の会議で、訪問や健診での状態と子育て広場での発達状態を情報共有しようと取り組みました。

その中で療育が必要と考えられるお子さんについては、保健師さん、福祉課の担当と話し合いをし、同じ建物の中にある療育、児童発達支援の利用となります。

保健師さんとの情報共有は、新生児訪問あるいは乳幼児健診での状態、こちらの教室の毎週の様子を報告しあい、子どもを線でつなごうと努めました。そして、わかってもわからなくてもいいから、まず口の中に手を入れさせてもらってそれで自分で確認をしてほしいとお願いしたんですね。そしたら吸啜反射もない子がかなりいるというのが実感として、わかってきています。

生活の中で予防・改善する支援

子育て広場は、自己紹介から始まって、10cmくらいの位置で目を合わせて、歌に合わせてふれあい遊び、次にタオルとボールを使ってのマッサージ、歌に合わせて身体調和マッサージ、発達についてのミニ講和、感覚を育てる遊び、口腔マッサージ、終わりの会、離乳食実践をします。母親がそれらを覚えて自宅でも実践できるよう支援をします。この流れの中でママぱれっとのように作業療法士さんも入っていただけたら、もっと充実したかかわりができますね。

母親は、ここでの学び、実践することで、お子さんの発達を丁寧に見られ、子育ての喜びを

体験してほしいと思います。それが、次のお子さんの子育てにも繋がっていくことと思います。

広場では、目線が合いにくいお子さん、筋緊のバランスが悪く正常発達が獲得しにくいお子さんなどさまざまですが、次に進むのが、療育だけでなく、別の支援の方法も、様々な専門職と考えていく必要があると思います。お子さんの状態から予防をするための支援の場、戦略的に改善を狙った支援の場、お子さんの状態とお母さんの気持ちに合わせての支援の場など自治体は支援を選択できる場を用意することが必要だと思います。

その中で定型発達の子どもたちも含めて、生活の中で予防、改善していける子育て方法を教えていく事を全員のお子さんに支援できるよう、自治体に期待するところです。

それは私が自治体でしていた母子保健事業、多職種で同じ時間に同じ子どもをみて、意見交換をするという事で、たくさんのお子さんの変化を見てきた中で、多職種連携の大切さを実感したからです。

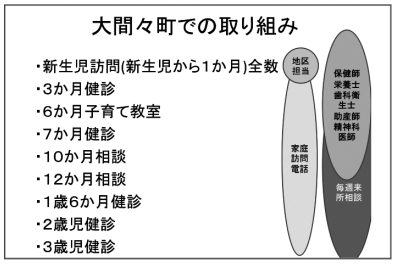
子どもに関わる全ての職域で

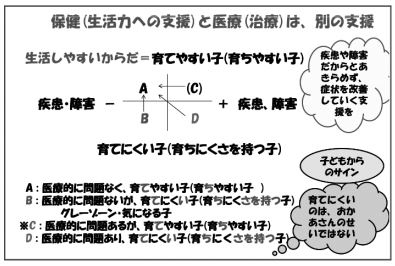
長野原町での子育て広場で、お母さんたちからの意見で、離乳食を持参し、そこで離乳食指導する場を作りました。そこで、口のマッサージを指導し、口腔の機能を見ていく中、歯科衛生士さんがいたら、「口腔機能と生活力の話」「口腔機能のスクリーニング」ができ、通っている歯科医院、今後入園する保育園の保育士さんや看護師さんと連携が持てたらと思うわけです。ここがうまくつながっていけたら…。今日のお話の主題である多職種連携の必要性はこうした現場にあります。

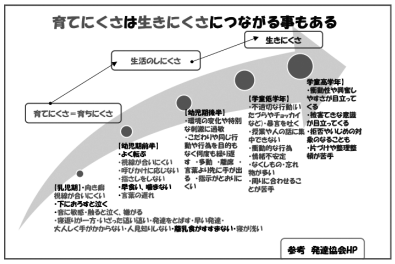
今は、発達に関わる専門職、保健師、看護師、助産師、理学療法士、作業療法士、小児科・産科のドクター、歯科衛生士、管理栄養士、学校の先生などが、それぞれの職域の中で、点でとらえている現象、自分の職域では関わらない年齢の状態に興味を持ち、発達を線でつなぐために、多職種で縦との連携、縦との連携ができるような場が必要かと。そうしたら、使いづらい体に合わせて道具を作るということだけでなく、発達を促すためにほかのも方法がないかと意見交換ができるのではないかと。

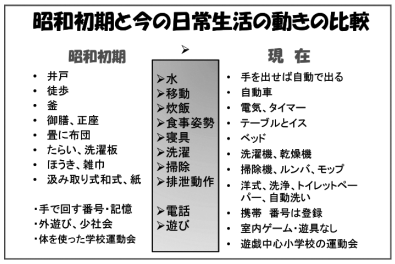
一番はお子さんとそのご家族を中心に、今、子どもたち、子育て世代の家庭に何が起こっているかの検証です。そしてそれぞれの職域の人たちが、「最近は、こういう子がいます」、「こういう親がいます」「こんなことが気になる状態です」などの事実を拾い出し、それぞれの立場の解釈を出し合い、自分の職域で何をしたらよいのかということを検討しあう必要があると思います。

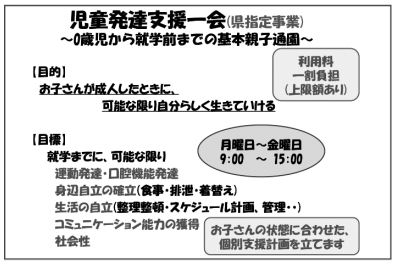
そして、最初に申し上げた通り、社会全体への波及力を考えると、自治体の役割は大きく、そこで働く保健師さんの力にも期待したい。わたくし自身も、これからも働きかけていきたいと思います。

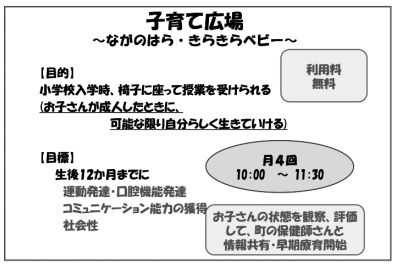


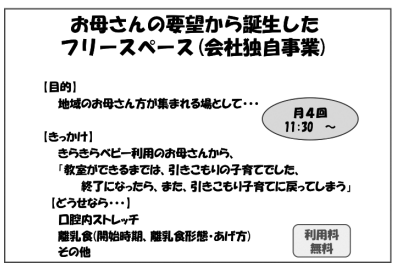










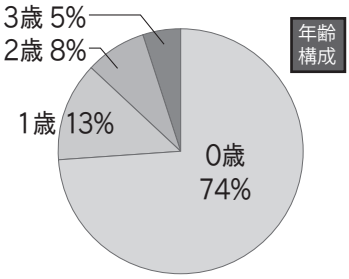


● ママぱれっと

（ 午前 10時～12時 ）

合計参加人数		1回あたり
乳幼児	295人	8.0人
大　人	279人	7.5人

年齢別	
0歳	218人
1歳	39人
2歳	24人
3歳	14人



アンケート調査満足度		
とても満足	74%	203人
満 足	25%	69人
やや不満足	1%以下	2人

やや不満足の理由：「もう少し個人的にいろいろ聞きたかった」「子供が機嫌が悪くなり、泣いていたので」

ママぱれっと（午前）

0歳さんの日

アドバイザー 村口 裕美

参加人数（1回あたり）：乳幼児 8.0人　大　人 7.7人

年齢構成：0歳 100%

日付	5/23	6/14	7/25	8/22	9/11	10/4	11/7	12/3	1/23	2/28	3/25	参加者（計）
曜日	木	金	木	木	水	金	木	火	木	金	水	
0歳	3	7	11	8	7	9	13	7	11	9	3	**88**
1歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
2歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
乳幼児	**3**	**7**	**11**	**8**	**7**	**9**	**13**	**7**	**11**	**9**	**3**	**88**
大人	**3**	**7**	**10**	**8**	**6**	**8**	**12**	**7**	**11**	**9**	**4**	**85**
満足度※ とても満足	3	6	10	7	4	5	7	7	10	7	3	**81%**（69人）
満足	0	1	0	1	2	3	5	0	1	2	1	**19%**（16人）
やや不満足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0%**（0人）
回収率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

アラ40ママのひろば

アドバイザー 村口 裕美

参加人数（1回あたり）：乳幼児 6.0人　大　人 5.7人

年齢構成：0歳 57%　1歳 31%　2歳 12%

日付	6/13	8/21	10/3	11/6	12/4	1/24	3/26	参加者（計）
曜日	木	水	木	水	水	金	木	
0歳	2	3	4	2	3	7	3	**24**
1歳	4	6	1	1	1	0	0	**13**
2歳	0	0	1	0	2	1	1	**5**
3歳	0	0	0	0	0	0	0	**0**
乳幼児	**6**	**9**	**6**	**3**	**6**	**8**	**4**	**42**
大人	**6**	**9**	**6**	**3**	**6**	**7**	**3**	**40**
満足度※ とても満足	5	5	3	2	4	4	3	**68%**（26人）
満足	1	3	3	1	1	3	0	**32%**（12人）
やや不満足	0	0	0	0	0	0	0	**0%**（0人）
回収率	100%	89%	100%	100%	83%	100%	100%	

0歳	3	2	2	6	3	9	8	3	3	5	3	**47**
1歳	3	2	4	6	1	3	3	2	1	3	2	**30**
2歳	1	1	1	1	0	1	2	0	0	1	0	**8**
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	**2**
乳幼児	**7**	**5**	**7**	**13**	**4**	**13**	**13**	**5**	**4**	**10**	**6**	**87**
大人	**7**	**5**	**7**	**10**	**4**	**11**	**13**	**5**	**4**	**9**	**6**	**81**

0歳	4	2	1	1	2	6	1	**17**
1歳	3	9	5	2	0	2	0	**21**
2歳	2	1	2	1	2	3	3	**14**
3歳	0	0	0	0	1	0	0	**1**
乳幼児	**9**	**12**	**8**	**4**	**5**	**11**	**4**	**53**
大人	**9**	**11**	**8**	**4**	**4**	**9**	**3**	**48**

ふうのひろば実（午後）

参加人数（1回あたり）：乳幼児 7.9人　大　人 7.3人

年齢構成：0歳 54%　1歳 35%　2歳 9%　3歳 2%

参加人数（1回あたり）：乳幼児 7.5人　大　人 6.8人

年齢構成：0歳 32%　1歳 40%　2歳 26%　3歳 2%

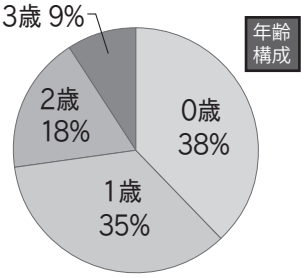
●ふうの実ひろば

（ 午後 12時～15時 ）

合計参加人数		1回あたり
乳幼児	298人	8.1人
大　人	276人	7.5人

ふうの実ひろばの「アンケート調査満足度」は実施していません

年齢別	
0歳	112人
1歳	104人
2歳	54人
3歳	28人



ママぱれっと（ふうの実ひろば含む）の利用者実数			
131組（ 大人131人・乳幼児143人 ）			
利用者の住まい			
倉敷市	76組（58%）	早島町	9組（7%）
岡山市	43組（33%）	その他	3組（2%）

その他（玉野市・浅口市・大阪府枚方市 それぞれ1組）

ママぱれっと（午前）

赤ちゃんと遊ぼう

アドバイザー 引野 里絵

参加人数（1回あたり）：乳幼児 11.7人　大　人 11.0人

年齢構成：0歳 80%　1歳 20%

日付	5/22	6/12	7/24	8/20	9/12	10/2	11/9	12/5	1/22	2/27	3/24	参加者（計）
曜日	水	水	水	火	木	水	土	木	水	木	火	
0歳	6	7	9	7	12	11	9	14	12	10	6	**103**
1歳	4	6	4	3	2	2	1	0	2	1	1	**26**
2歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
乳幼児	**10**	**13**	**13**	**10**	**14**	**13**	**10**	**14**	**14**	**11**	**7**	**129**
大人	**10**	**12**	**12**	**9**	**13**	**12**	**9**	**13**	**13**	**11**	**7**	**121**
満足度※ とても満足	8	10	8	5	13	8	7	9	7	4	5	**70%**（84人）
満足	2	2	3	4	0	4	2	4	6	5	2	**28%**（34人）
やや不満足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	**2%**（2人）
回収率	100%	100%	92%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

子リスのひろば

アドバイザー 引野 里絵

参加人数（1回あたり）：乳幼児 4.5人　大　人 4.1人

年齢構成：0歳 8%　2歳 53%　3歳 39%

日付	5/21	6/11	7/23	9/10	10/1	11/8	1/21	2/26	参加者（計）
曜日	火	火	火	火	火	金	火	水	
0歳	0	0	1	0	0	0	1	1	**3**
1歳	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
2歳	2	2	4	2	3	1	2	3	**19**
3歳	2	2	1	2	2	2	2	1	**14**
乳幼児	**4**	**4**	**6**	**4**	**5**	**3**	**5**	**5**	**36**
大人	**4**	**4**	**5**	**4**	**5**	**3**	**4**	**4**	**33**
満足度※ とても満足	4	4	3	3	1	3	2	4	**77%**（24人）
満足	0	0	2	1	3	0	1	0	**23%**（7人）
やや不満足	0	0	0	0	0	0	0	0	**0%**（0人）
回収率	100%	100%	100%	100%	75%	100%	100%	100%	

ふうの実ひろば（午後）

赤ちゃんと遊ぼう

参加人数（1回あたり）：乳幼児 8.5人　大　人 8.0人

年齢構成：0歳 40%　1歳 37%　2歳 16%　3歳 7%

日付	5/22	6/12	7/24	8/20	9/12	10/2	11/9	12/5	1/22	2/27	3/24	参加者（計）
曜日	水	水	水	火	木	水	土	木	水	木	火	
0歳	3	2	0	4	1	3	5	9	6	5	0	**38**
1歳	3	2	3	5	7	3	0	3	4	5	0	**35**
2歳	1	0	2	1	4	2	0	1	3	1	0	**15**
3歳	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	**6**
乳幼児	**8**	**4**	**5**	**10**	**13**	**9**	**5**	**13**	**15**	**11**	**1**	**94**
大人	**7**	**4**	**5**	**9**	**13**	**9**	**4**	**12**	**14**	**10**	**1**	**88**

子リスのひろば

参加人数（1回あたり）：乳幼児 8.0人　大　人 7.4人

年齢構成：0歳 16%　1歳28%　2歳26%　3歳30%

日付	5/21	6/11	7/23	9/10	10/1	11/8	1/21	2/26	参加者（計）
曜日	火	火	火	火	火	金	火	水	
0歳	0	2	2	1	0	3	1	1	**10**
1歳	0	1	5	1	2	5	2	2	**18**
2歳	2	1	2	1	3	2	2	4	**17**
3歳	2	2	1	2	2	1	5	4	**19**
乳幼児	**4**	**6**	**10**	**5**	**7**	**11**	**10**	**11**	**64**
大人	**4**	**6**	**10**	**5**	**7**	**11**	**8**	**8**	**59**

※ 満足度調査のうち回収率100%に満たないところは未回収です。

チカクの歩み

「0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業」を企画運営した一般社団法人チカクは、倉敷市を拠点に、これまで以下のようなさまざまな団体と連携して事業を行ってきました。

【連携事業】

夏休み★宿題応援団　2004年8月～現在

チボリの中で行っていた夏休みの工作教室（写真①）を自主事業として継続。現在は倉敷市環境学習センターの委託事業として行っている。

ようちえんごっこプチぱれっと　2010年10月～現在

経済産業省の助成金を受けたNPO法人ぱれっと（高槻市）からノウハウ移転を受け、プレ幼稚園事業をスタート。現在も倉敷市・岡山市で毎年40名前後の2～3歳児を受け入れている（写真②）。またこの事業について中小企業大学校関西校で「公益性を目的とした起業の事例」としてNPO法人ぱれっと代表と報告を行った。（2018年12月）

子ども防災ネットワークおかやま　2011年11月～現在

東日本大震災をきっかけに当時の全労済岡山県推進本部および県内の子育て支援NPOとこどものための防災教育の推進を目的に設立（写真③）。以来現在に至るまで、80施設、3000人以上の乳幼児を中心としたこどもたちを対象に、防災体験プログラムの出前講座を行い、また SNS などでこどもにまつわる防災情報の提供を行っている。

倉敷まちづくりびと展　2012年4月~2017年3月

倉敷市市民活動推進課からの委託で、市民協働提案事業の採択団体の活動紹介を商業施設のイベントとして企画。その準備から運営までの実際を各団体が体感する仕組みと、団体が細かく情報発信できる仕組みを構築した。このイベントの集客イベントとして、倉敷チボリ公園の人気ミュージカル「ハンスの冒険」※を「紙芝居オペレッタ」（写真④）などとして再演した。※ハンスの冒険は 2011 年 3 月に個人・法人などから支援を得て、チカクが事務局となり、劇場公演を果たしている。（写真⑤⑥）

ちゃやっこひろば・チカク　2012年10月～現在

倉敷市委託の地域子育て支援拠点事業。全国に6800カ所以上あり、倉敷市内では19カ所ある地域子育て支援拠点の一つ。茶屋町の駅前の100㎡の拠点で、平日10時から15時まで保育士など2名が常駐して0歳～3歳までの子とその親の支援を行う（写真⑦）。年間会員数243世帯、利用者数約6016人（2019年度実績）。写真は、地域支援として行うアラ40ママの子育て広場（写真⑧）、茶屋町ふれあいクリスマス（写真⑨）。

高梁川流域地域づくり連携事業①　2017年7月～2018年3月

「こどもの防災を考える<ちゃやっこ・こっこプロジェクト>」として防災体験プログラムの内容を総社市内の子育て支援拠点を運営するNPO法人子育て・応援こっこに技術移転。

岡輝みんな食堂　2017年10月~2018年3月

岡山市岡輝地区の福祉事業所、経営者などからなるグループのコミュニティ食堂の立ち上げ支援を行った。備前地域いきいき子どものくらし応援事業（支援基盤形成事業）。

真備臨時託児室　2018年7～8月

豪雨災害で保育所、支援センターが全滅した倉敷市真備地区で、地域子育て支援拠点の一員として、0～2歳児を対象とした託児室の運営をサポートした。

高梁川流域地域づくり連携事業②　2018年7月~2019年3月

「障がい児の保護者の居場所づくりノウハウ移転事業」として居場所づくりのノウハウ移転を、NPO法人ペアレント・サポートすてっぷから受けた。

0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業~ママぱれっと　2018年4月~2020年3月

「0歳児の発達支援」に視点を持つ支援者の育成と場づくりを行った。

①

②

早くから防災意識を
子ども向けプログラム開発、普及
倉敷・チカクと岡山であすセミナー
卵の殻踏み「がれき」体験 シーツで包帯作り
③ 山陽新聞（2011年12月2日付）

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

チカクのこと

チボリ文化引き継ぐぞ
子ども向け催しや教室
山陽新聞 2009年2月19日付

一般社団法人チカクは、倉敷駅前にあった倉敷チボリ公園の公益性の一部（地縁・血縁から程よく離れたコミュニティとしての存在と事業）を継承するために、閉園直前の2008年12月26日に、チボリで働く女性スタッフが設立した非営利型の一般社団法人です。チボリの閉園は当時500億以上の第三セクターの清算という尋常ならざる事態であり、仲間たちとやむにやまれず立ち上げ、その後、継続して活動していく中でさまざまな人と出会い、事業を積み上げてきました。

設立から一貫して、社会の中の大小さまざまな矛盾や不具合を批判、論評するだけでなく、当事者として身近な課題に取り組んでいきたいと私たちは考え、行動してきました。目指しているのは、乳幼児から10歳ぐらいまでのこどもとその親を含む、小さな「コミュニティ」を、さまざまな形で町なかに作り続けること。そこで、活動を通じて、自然災害が多い日本で未来を生きるこどもたちのために、「当事者意識」を持って取り組む「姿勢」の大切さを地域のみなさんにも伝えていきたいと思っています。

チボリで、私たちは町なかの森を育てていました。そしていまも森を育てるように人を育てる「志」をもって、事業を続けていこうと思っています。

一般社団法人チカク
団体事務局所在地：倉敷市茶屋町269-1植野ビル2階
TEL（代表）080-2900-8110 TEL（ひろば）070-5050-7730
FAX 050-3488-4116 E-mail ekinotikaku@gmail.com
URL：http://www.ekinotikaku.com/

チカクのこと パブリシティ

ママぱれっと

ママと赤ちゃんの居場所

企画・運営　一般社団法人チカク

〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町269-1 植野ビル２階
電話 080-2900-8110
メールアドレス ekinotikaku@gmail.com

アドバイザー　ぐらん・ま　倉敷自然育児相談所　村口 裕美
RICS リエ・チャイルド・サポート代表　引野 里絵

ロゴ・冊子デザイン　Graphicatelier　田辺 美由紀